



2021年度 前期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 さいたま看護学部

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】	3
2.	【演習】	4
3. 授業改善アンケート結果【講義】		5
4. 教員からのコメント一覧【講義】		42
5. 授業改善アンケート結果【演習】		46
6. 教員からのコメント一覧【演習】		55

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

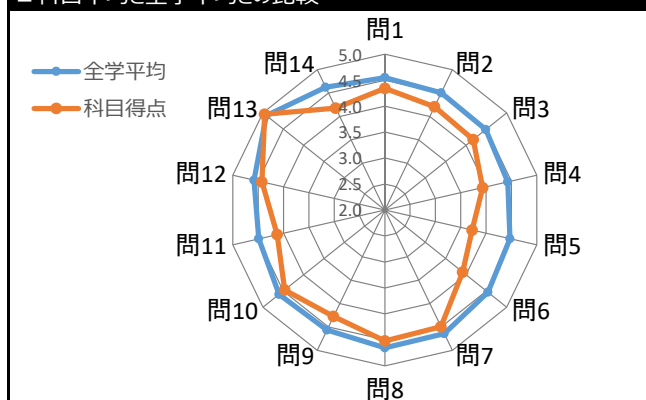
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

科目名	赤十字概論	[2A0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	角田敦彦		授業形態	講義	回答数	73	81.1%

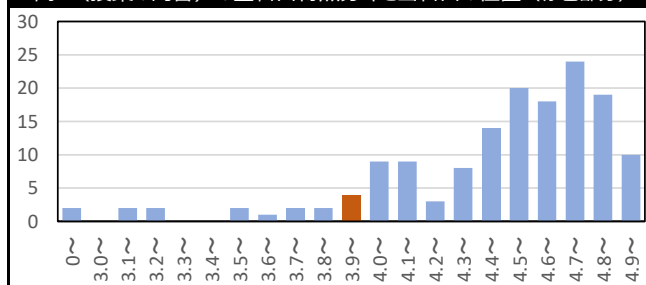
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 29% 'Strongly agree', 40% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.34	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 23% 'Strongly agree', 42% 'Agree', 8% 'Disagree']						4.21	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 22% 'Strongly agree', 42% 'Agree', 9% 'Disagree']						4.18	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 16% 'Strongly agree', 38% 'Agree', 15% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						3.93	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 14% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 19% 'Disagree', 6% 'Strongly disagree']						3.73	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 17% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 15% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						3.92	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 41% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.49	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 41% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.52	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 30% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 10% 'Disagree']						4.27	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 42% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 8% 'Disagree']						4.47	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 24% 'Strongly agree', 35% 'Agree', 13% 'Disagree']						4.12	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 37% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.42	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree']						4.96	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 21% 'Strongly agree', 44% 'Agree', 8% 'Disagree']						4.18	4.63
問1~14全問平均								4.27	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



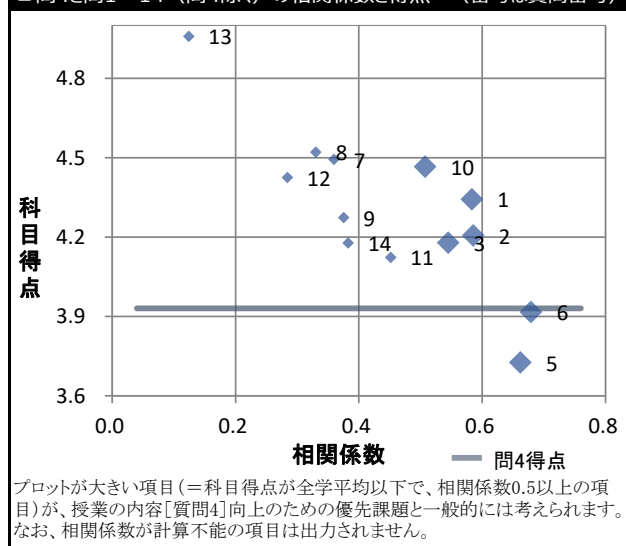
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

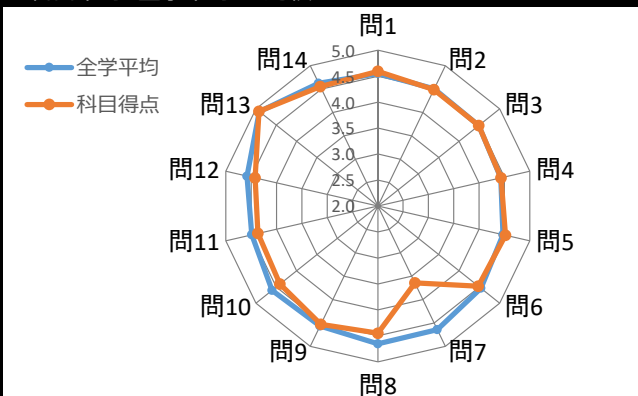
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	心理学概論	[2B0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	81	回答率	
教員名	遠藤公久		授業形態	講義	回答数	76	93.8%	

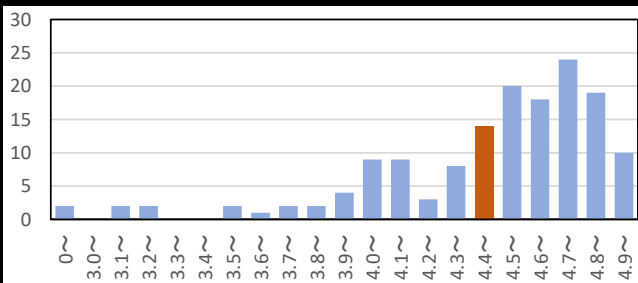
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 47% Blue, 27% Green]						4.59	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 42% Blue, 29% Green, 5% Yellow]						4.49	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 41% Blue, 31% Green, 4% Yellow]						4.49	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 37% Blue, 35% Green, 4% Yellow]						4.43	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 42% Blue, 30% Green, 3% Yellow]						4.52	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 41% Blue, 30% Green, 5% Yellow]						4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 21% Blue, 23% Green, 19% Yellow, 10% Orange, 3% Red]						3.64	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 39% Blue, 32% Green, 5% Yellow]						4.45	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 44% Blue, 28% Green, 4% Yellow]						4.53	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 38% Blue, 31% Green, 7% Yellow]						4.41	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 36% Blue, 32% Green, 8% Yellow]						4.37	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 42% Blue, 24% Green, 10% Yellow]						4.42	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 70% Blue, 6% Yellow]						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 44% Blue, 30% Green]						4.55	4.63
問1~14全問平均								4.45	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

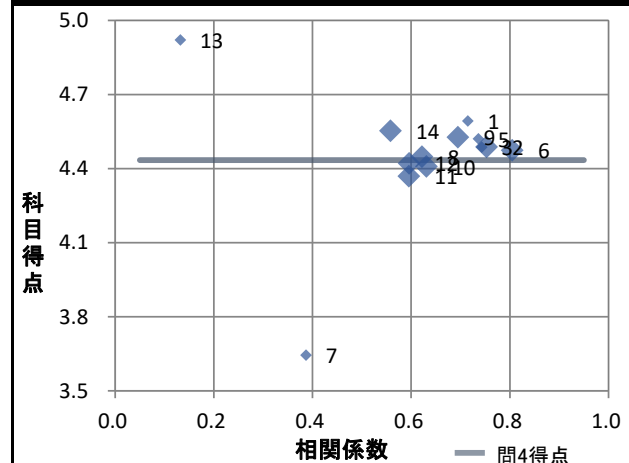


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

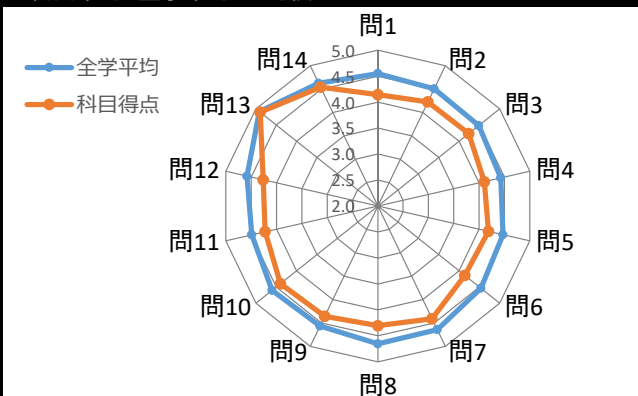
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	生物学	[2D0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	85	回答率
教員名	宮崎正峰		授業形態	講義	回答数	76	89.4%

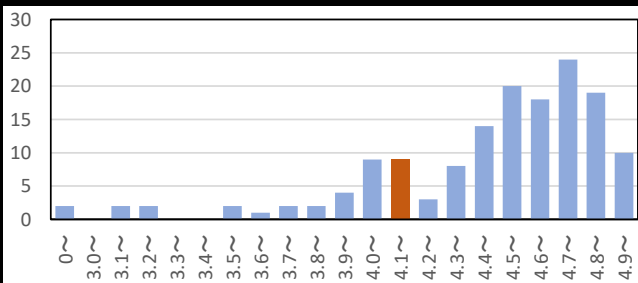
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	32	30	8	5			4.14	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	32	33	8	1			4.22	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	32	33	8	3			4.24	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	29	32	9	6			4.11	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	32	29	12	3			4.18	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	30	30	13	3			4.14	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	39	30	6				4.41	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	37	28	9	1			4.30	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	35	34	6				4.36	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	39	30	5				4.39	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	32	31	11				4.22	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	33	32	9				4.26	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	68	8					4.89	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	44	29	3				4.54	4.63
問1~14全問平均								4.32	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

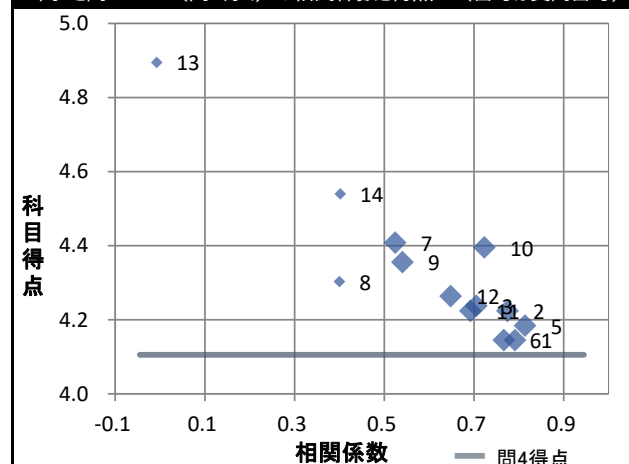


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



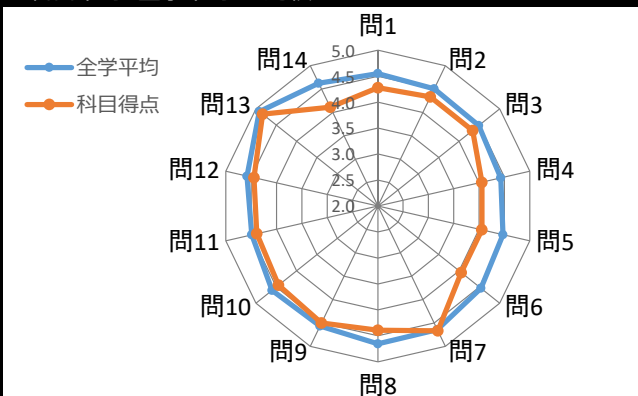
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	化学	[2D0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	18	回答率	
教員名	三好洋		授業形態	講義	回答数	18	100.0%	

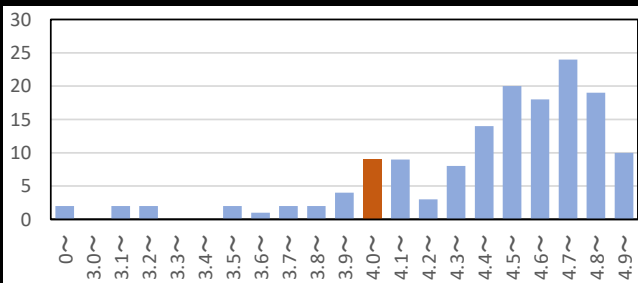
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing counts: 7 (blue), 10 (green), 1 (orange)]						4.28	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing counts: 8 (blue), 9 (green), 1 (orange)]						4.33	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing counts: 6 (blue), 12 (green)]						4.33	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing counts: 4 (blue), 11 (green), 3 (orange)]						4.06	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing counts: 7 (blue), 7 (green), 2 (orange), 2 (red)]						4.06	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing counts: 6 (blue), 8 (green), 3 (orange), 1 (red)]						4.06	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing counts: 12 (blue), 6 (green)]						4.67	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing counts: 9 (blue), 7 (green), 2 (orange)]						4.39	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing counts: 9 (blue), 9 (green)]						4.50	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing counts: 9 (blue), 8 (green), 1 (orange)]						4.44	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing counts: 8 (blue), 9 (green), 1 (orange)]						4.39	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing counts: 8 (blue), 10 (green)]						4.44	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing counts: 15 (blue), 3 (green)]						4.83	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing counts: 7 (blue), 7 (green), 3 (orange), 1 (red)]						4.11	4.63
問1~14全問平均								4.35	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

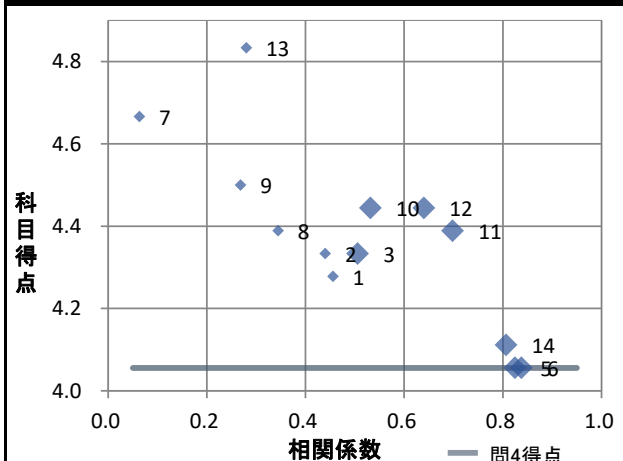


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

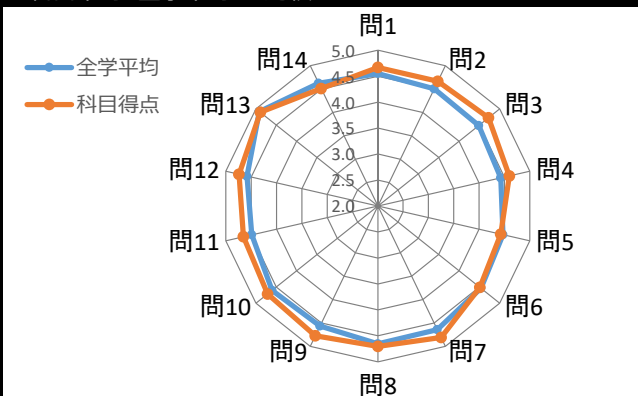
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	保健統計学	[2E0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	川崎洋平		授業形態	講義	回答数	84	95.5%

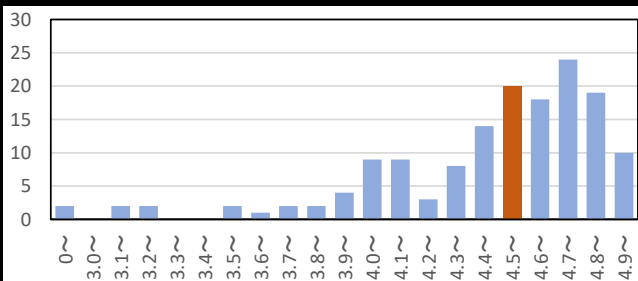
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 19% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.67	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 19% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.67	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 18% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.73	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 23% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.60	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 28% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.43	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 26% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.51	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 18% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.81	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 21% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.70	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 17% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.77	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 20% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.71	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 23% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.65	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 18% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.74	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree', 7% 'Agree', 17% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.89	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 27% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.51	4.63
問1~14全問平均								4.67	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

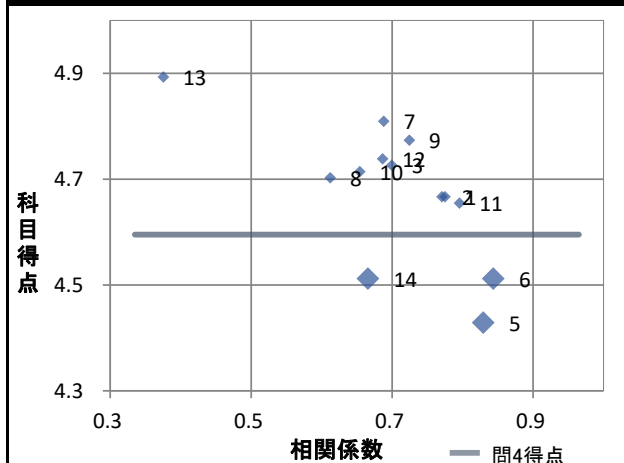


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

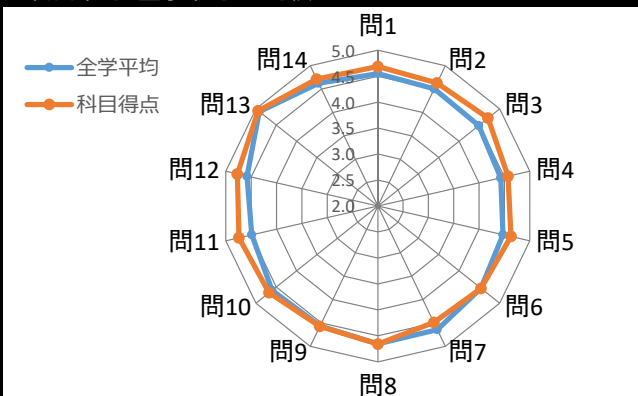
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	英語RW I	[2F0021]	学部	さいたま看護学部	履修者数	41	回答率
教員名	川崎修一		授業形態	講義	回答数	35	85.4%

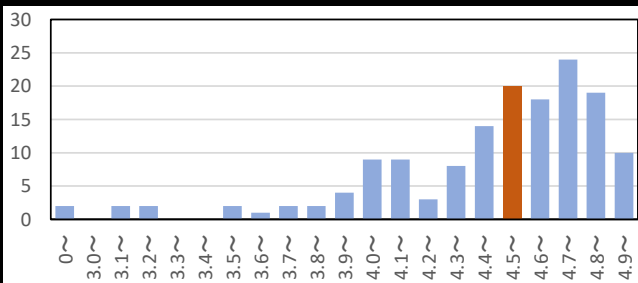
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree' and 11 for 'Agree']						4.69	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 23 for 'Strongly agree' and 11 for 'Agree']						4.63	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 25 for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.71	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 23 for 'Strongly agree', 9 for 'Agree', and 3 for 'Disagree']						4.57	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 22 for 'Strongly agree' and 13 for 'Agree']						4.63	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 21 for 'Strongly agree', 12 for 'Agree', and 2 for 'Disagree']						4.54	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 20 for 'Strongly agree', 12 for 'Agree', and 3 for 'Disagree']						4.49	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 23 for 'Strongly agree' and 12 for 'Agree']						4.66	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 21 for 'Strongly agree' and 13 for 'Agree']						4.57	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 24 for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.68	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 26 for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.74	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 27 for 'Strongly agree' and 8 for 'Agree']						4.77	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 32 for 'Strongly agree' and 2 for 'Disagree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 26 for 'Strongly agree' and 8 for 'Agree']						4.71	4.63
問1~14全問平均								4.67	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

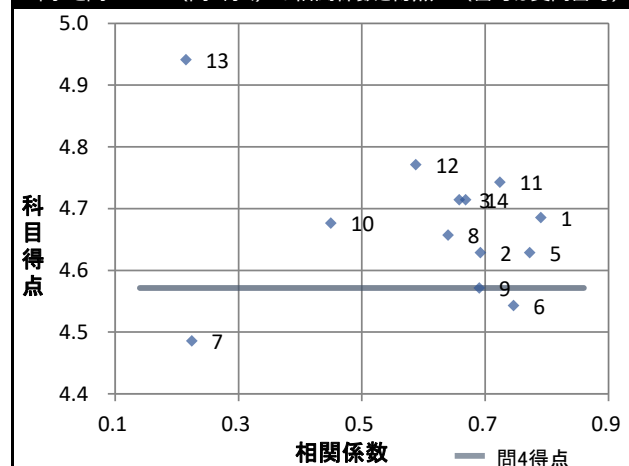


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

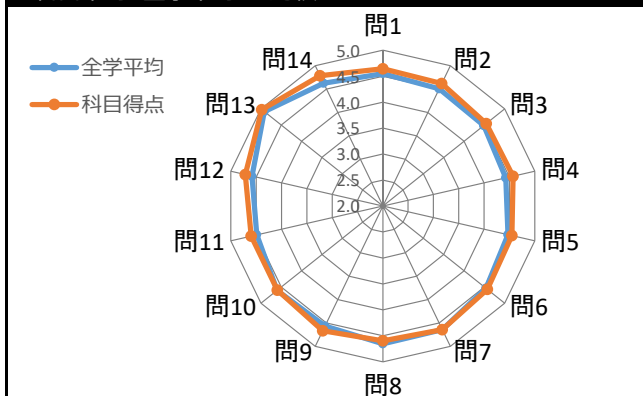
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	英語RW I	[2F0022]	学部	さいたま看護学部	履修者数	49	回答率
教員名	遠藤花子		授業形態	講義	回答数	42	85.7%

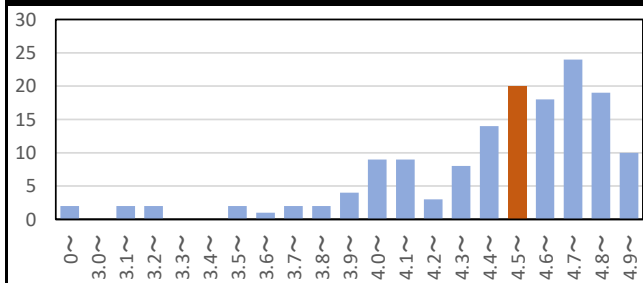
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 27% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.64	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 26% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.62	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 25% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.55	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 26% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.57	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 26% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.55	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 25% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.57	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 28% for 'Strongly agree' and 13% for 'Agree']						4.64	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 27% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.60	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 28% for 'Strongly agree' and 14% for 'Agree']						4.67	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 26% for 'Strongly agree' and 15% for 'Agree']						4.60	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 25% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.60	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 30% for 'Strongly agree' and 12% for 'Agree']						4.71	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree']						4.98	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 33% for 'Strongly agree' and 9% for 'Agree']						4.79	4.63
問1~14全問平均								4.65	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

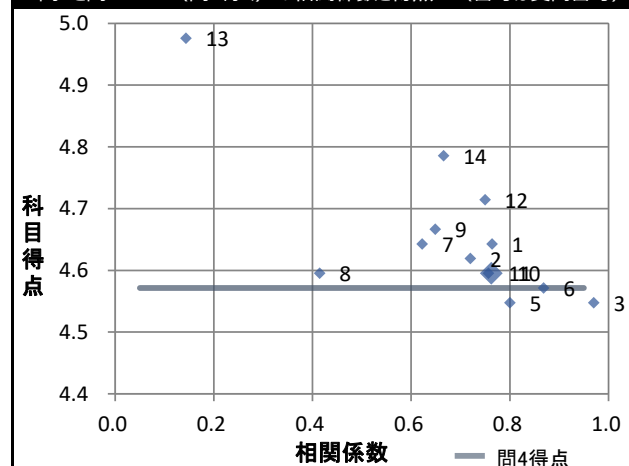


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

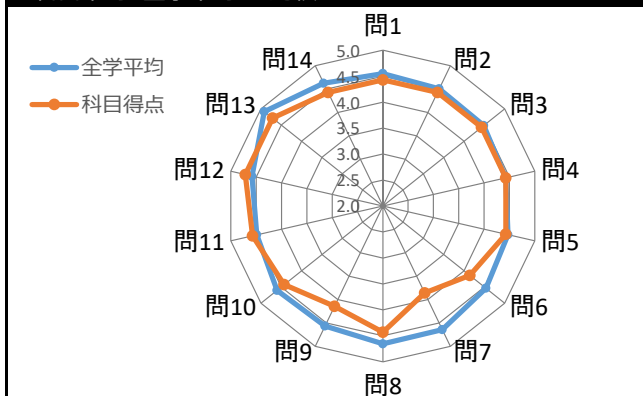
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	英語RWⅢ	[2F0040]	学部	さいたま看護学部	履修者数	13	回答率	
教員名	川崎修一		授業形態	講義	回答数	7	53.8%	

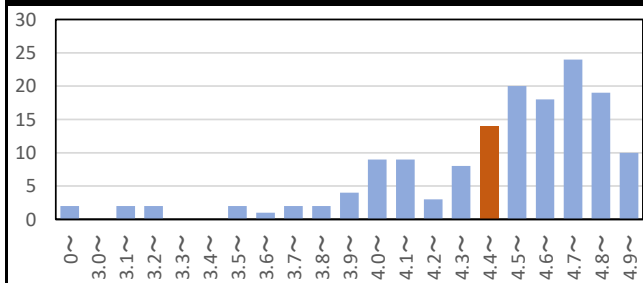
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow]						4.43	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow]						4.43	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow]						4.43	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow]						4.43	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow]						4.43	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 4 blue, 1 green, 1 yellow, 1 orange]						4.14	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 4 blue, 2 yellow, 1 orange]						3.86	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow]						4.43	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 4 blue, 1 green, 1 yellow, 1 orange]						4.14	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow]						4.43	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 4 blue, 3 green]						4.57	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 5 blue, 2 green]						4.71	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 5 blue, 2 green]						4.71	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow]						4.43	4.63
問1~14全問平均								4.40	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

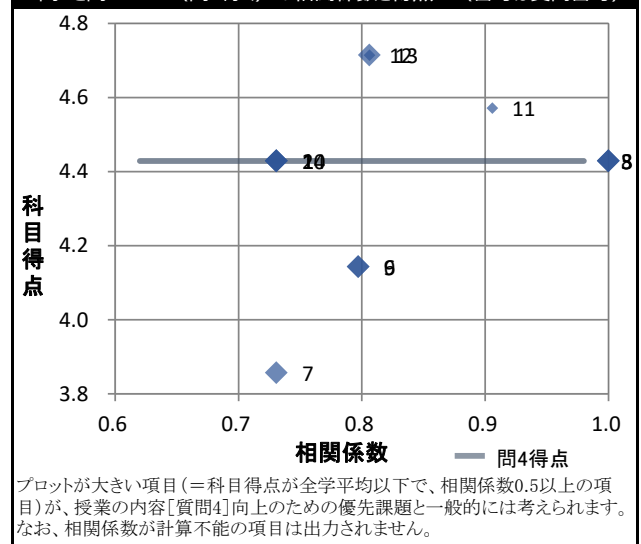


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

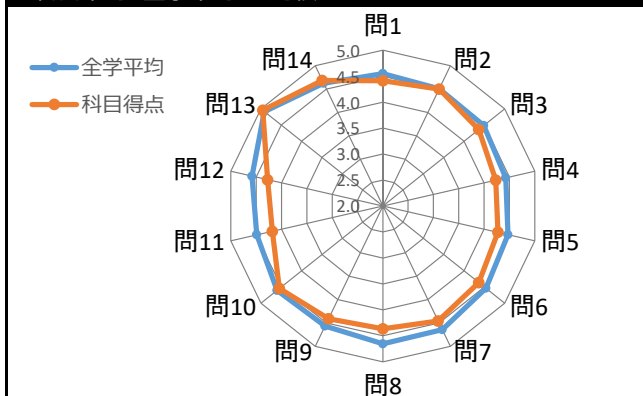
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	英語LS	[2F0051]	学部	さいたま看護学部	履修者数	24	回答率
教員名	ダニエル・ヴィラスコ		授業形態	講義	回答数	22	91.7%

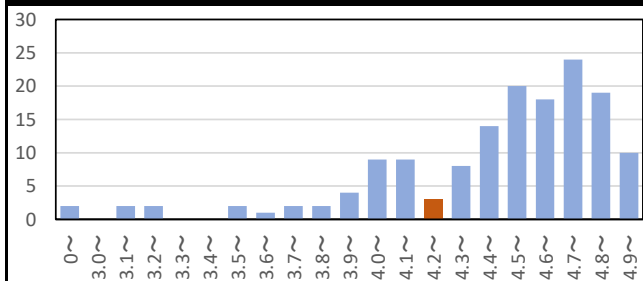
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 12 (Blue), 7 (Green), 3 (Yellow)]						4.41	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart: 13 (Blue), 7 (Green), 2 (Yellow)]						4.50	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 11 (Blue), 8 (Green), 3 (Yellow)]						4.36	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart: 10 (Blue), 8 (Green), 3 (Yellow), 1 (Orange)]						4.23	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart: 12 (Blue), 6 (Green), 2 (Yellow), 2 (Orange)]						4.27	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart: 13 (Blue), 6 (Green), 1 (Yellow), 2 (Orange)]						4.36	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart: 13 (Blue), 7 (Green), 1 (Yellow), 1 (Orange)]						4.45	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart: 11 (Blue), 9 (Green), 1 (Yellow), 1 (Orange)]						4.36	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 11 (Blue), 9 (Green), 2 (Yellow)]						4.41	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 14 (Blue), 6 (Green), 2 (Yellow)]						4.55	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart: 10 (Blue), 7 (Green), 4 (Yellow), 1 (Orange)]						4.18	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked Bar Chart: 10 (Blue), 9 (Green), 2 (Yellow), 1 (Orange)]						4.27	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart: 21 (Blue), 1 (Green)]						4.95	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart: 15 (Blue), 7 (Green)]						4.68	4.63
問1~14全問平均								4.43	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

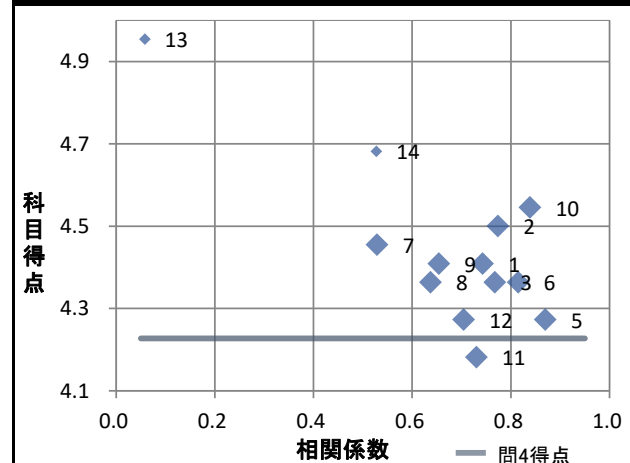


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

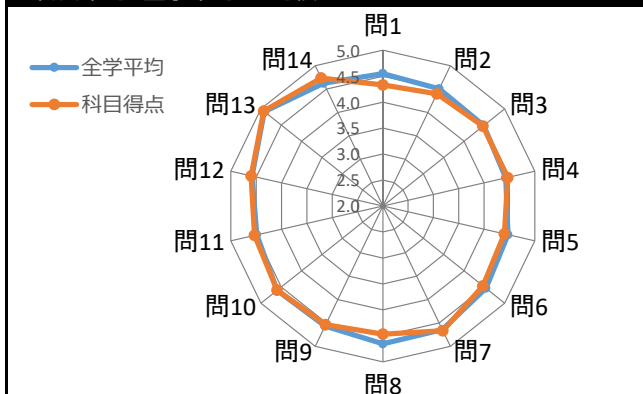
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	英語LS	[2F0052]	学部	さいたま看護学部	履修者数	21	回答率
教員名	タカスギ・キャサリン		授業形態	講義	回答数	15	71.4%

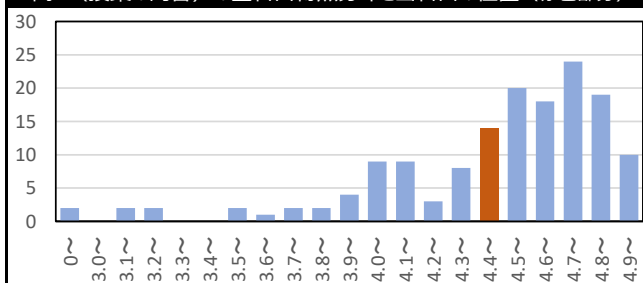
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.33	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.40	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.47	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.47	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.40	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.67	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.47	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.53	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.60	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.53	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.60	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.73	4.63
問1~14全問平均								4.54	4.57	

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

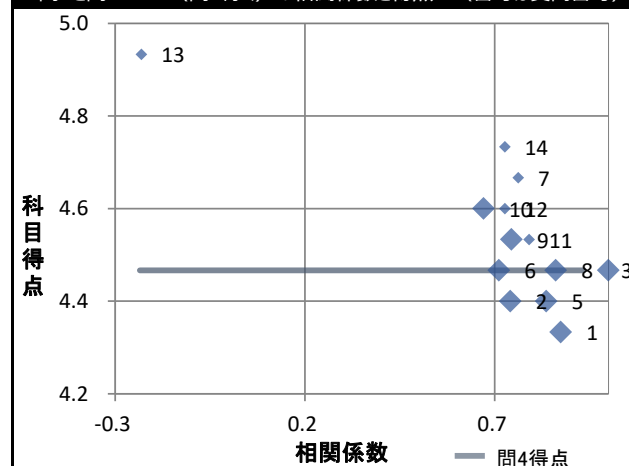


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

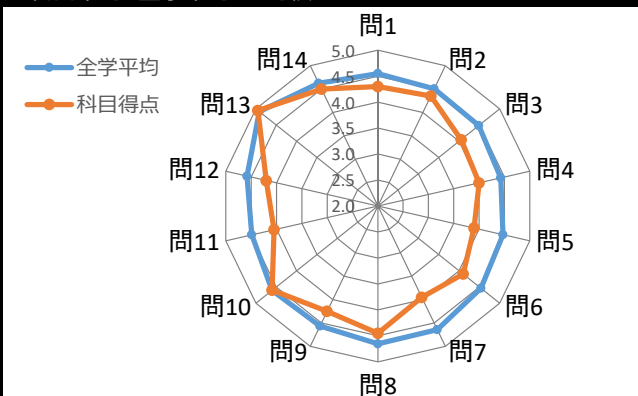
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	英語LS	[2F0053]	学部	さいたま看護学部	履修者数	25	回答率	
教員名	ダニエル・ヴィラスコ		授業形態	講義	回答数	20	80.0%	

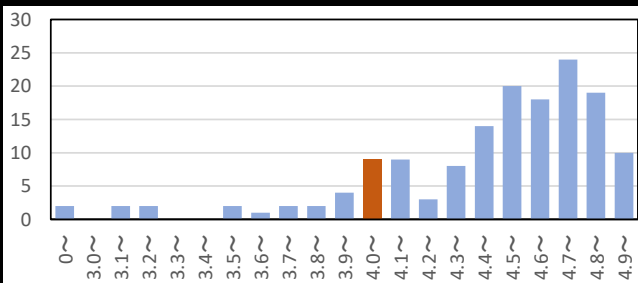
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9	8	3				4.30	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8	11	1				4.35	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4	13	3				4.05	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	4	12	4				4.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4	10	6				3.90	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	4	14	2				4.10	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5	10	4	1			3.95	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	11					4.45	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	6	13	1				4.25	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	12	8					4.60	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7	8	4	1			4.05	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	8	4				4.20	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	19	1					4.95	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	10					4.50	4.63
問1~14全問平均								4.26	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

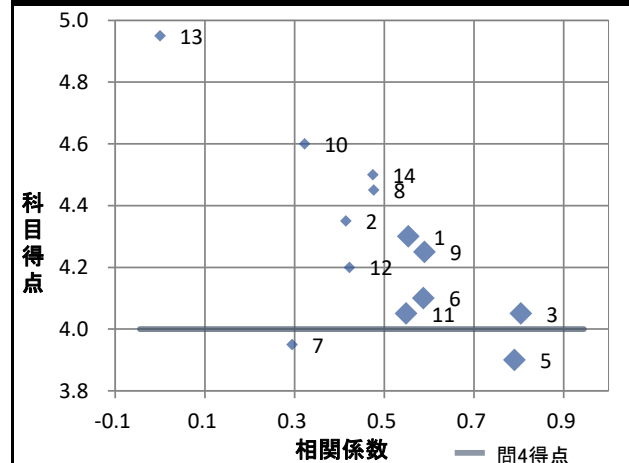


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

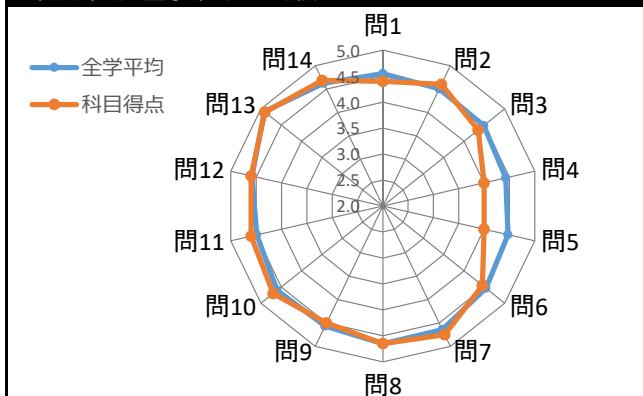
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	英語LS	[2F0054]	学部	さいたま看護学部	履修者数	20	回答率	
教員名	タカスギ・キャサリン		授業形態	講義	回答数	20	100.0%	

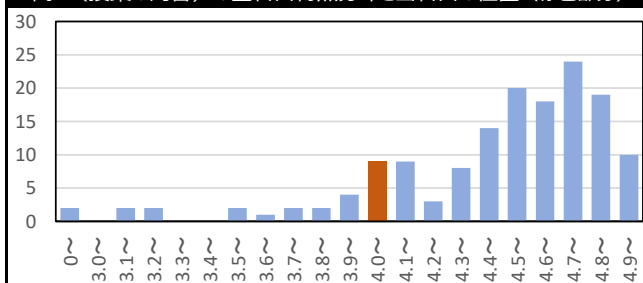
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.40	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.60	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。								4.35	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.45	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.75	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。								4.65	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.50	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.70	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.60	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.60	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。								4.90	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.68	4.63
問1~14全問平均								4.51	4.57	

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

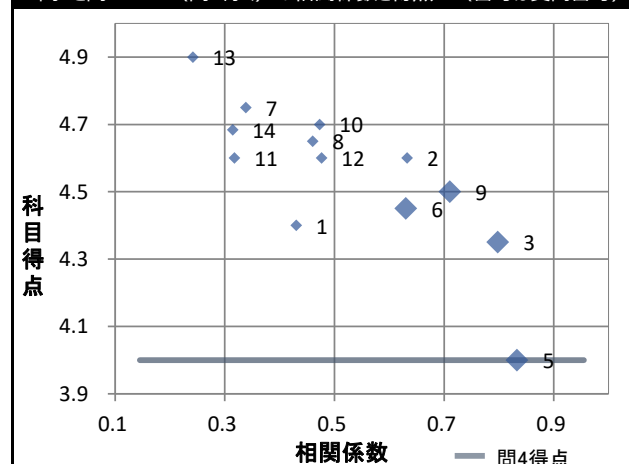


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

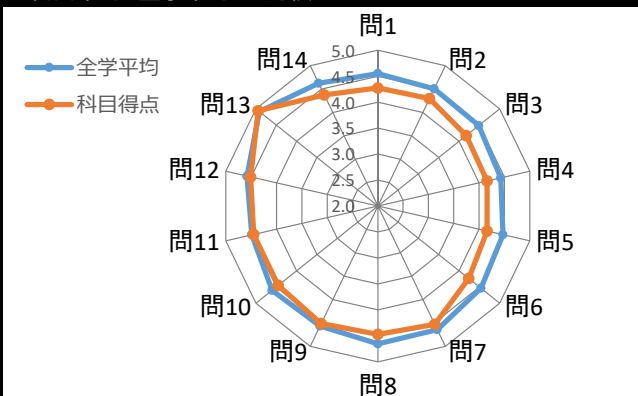
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	英語文献を読む	[2F0060]	学部	さいたま看護学部	履修者数	87	回答率
教員名	遠藤花子		授業形態	講義	回答数	51	58.6%

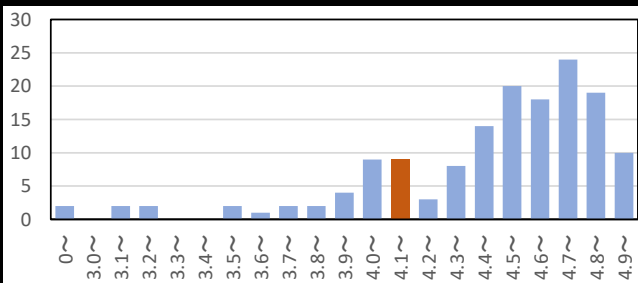
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 23% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 7% for 'Disagree']						4.27	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 23% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 8% for 'Disagree']						4.29	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 22% for 'Strongly agree', 17% for 'Agree', 11% for 'Disagree']						4.18	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 21% for 'Strongly agree', 17% for 'Agree', 13% for 'Disagree']						4.16	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 24% for 'Strongly agree', 14% for 'Agree', 11% for 'Disagree']						4.16	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 23% for 'Strongly agree', 18% for 'Agree', 9% for 'Disagree']						4.24	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 31% for 'Strongly agree', 16% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.53	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 30% for 'Strongly agree', 15% for 'Agree', 6% for 'Disagree']						4.47	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 30% for 'Strongly agree', 17% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.51	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 29% for 'Strongly agree', 17% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.45	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 29% for 'Strongly agree', 16% for 'Agree', 6% for 'Disagree']						4.45	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 31% for 'Strongly agree', 15% for 'Agree', 5% for 'Disagree']						4.51	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree', 3% for 'Disagree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 25% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 6% for 'Disagree']						4.37	4.63
問1~14全問平均								4.39	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



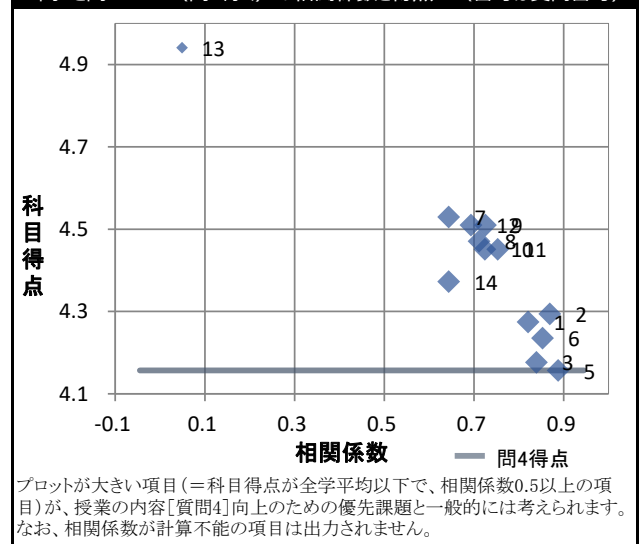
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

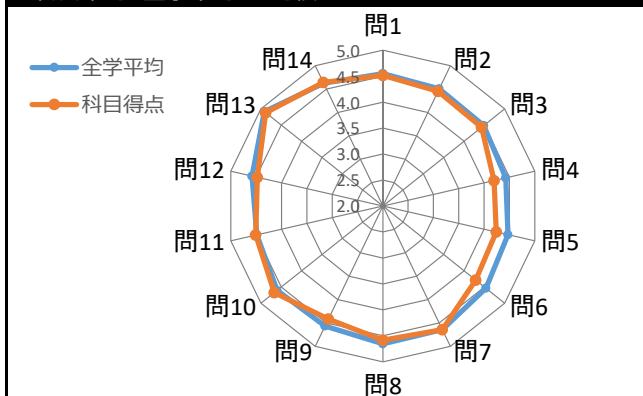
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	中国語 I	[2F0070]	学部	さいたま看護学部	履修者数	68	回答率
教員名	神谷智幸		授業形態	講義	回答数	67	98.5%

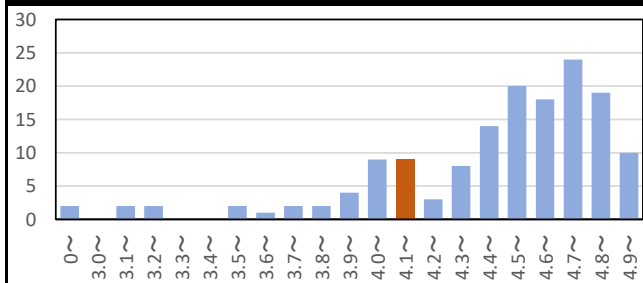
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.52	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 37% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 7% for 'Disagree', 33% for 'Strongly disagree']						4.45	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 36% for 'Strongly agree', 24% for 'Agree', 7% for 'Disagree', 33% for 'Strongly disagree']						4.43	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 27% for 'Strongly agree', 26% for 'Agree', 12% for 'Disagree', 35% for 'Strongly disagree']						4.20	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 28% for 'Strongly agree', 28% for 'Agree', 10% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.24	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 30% for 'Strongly agree', 27% for 'Agree', 9% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.28	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', 34% for 'Disagree', 0% for 'Strongly disagree']						4.64	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', 3% for 'Disagree', 33% for 'Strongly disagree']						4.58	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree', 21% for 'Agree', 7% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.42	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree', 20% for 'Agree', 34% for 'Disagree', 0% for 'Strongly disagree']						4.67	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree', 25% for 'Agree', 4% for 'Disagree', 33% for 'Strongly disagree']						4.51	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 38% for 'Strongly agree', 23% for 'Agree', 6% for 'Disagree', 33% for 'Strongly disagree']						4.48	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 60% for 'Strongly agree', 6% for 'Disagree', 34% for 'Strongly disagree']						4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree', 22% for 'Agree', 34% for 'Disagree', 0% for 'Strongly disagree']						4.64	4.63
問1~14全問平均								4.50	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

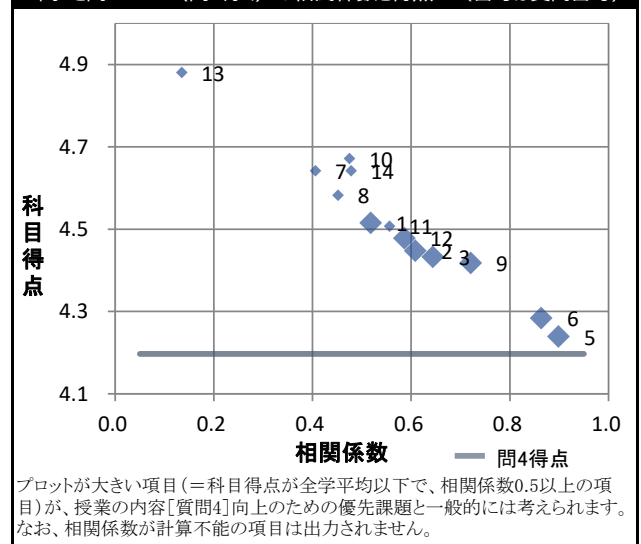


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

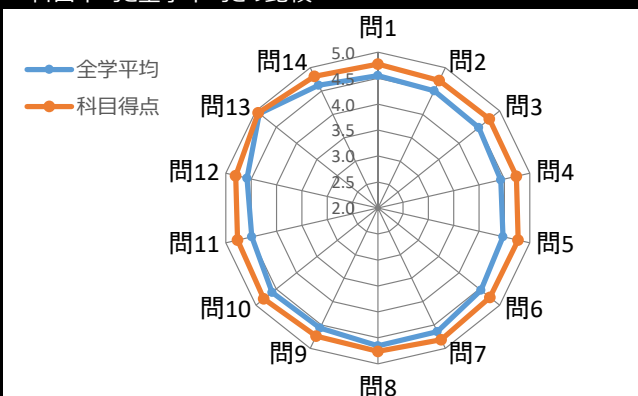
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	韓国語 I	[2F0090]	学部	さいたま看護学部	履修者数	89	回答率
教員名	高昌弘		授業形態	講義	回答数	87	97.8%

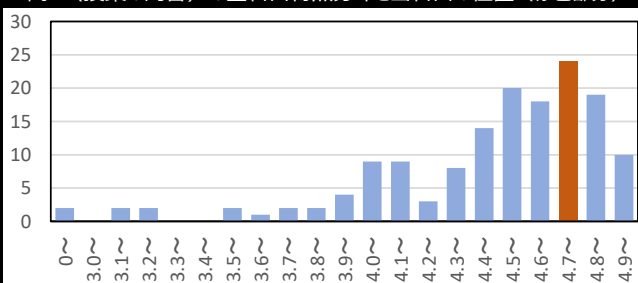
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 67% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.77	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 64% for 'Strongly agree' and 22% for 'Agree']						4.72	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 65% for 'Strongly agree' and 22% for 'Agree']						4.75	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 65% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree']						4.74	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 68% for 'Strongly agree' and 18% for 'Agree']						4.77	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 67% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.76	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 71% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.82	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 66% for 'Strongly agree' and 21% for 'Agree']						4.76	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 66% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']						4.74	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 70% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.80	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 67% for 'Strongly agree' and 20% for 'Agree']						4.77	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 70% for 'Strongly agree' and 17% for 'Agree']						4.80	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 82% for 'Strongly agree' and 5% for 'Agree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 71% for 'Strongly agree' and 16% for 'Agree']						4.82	4.63
問1~14全問平均								4.78	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

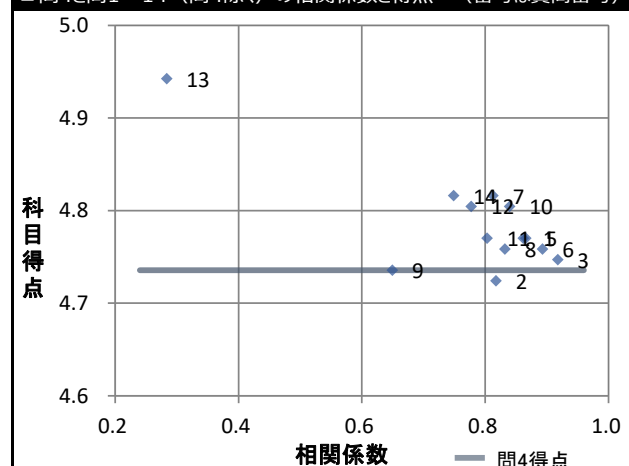


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

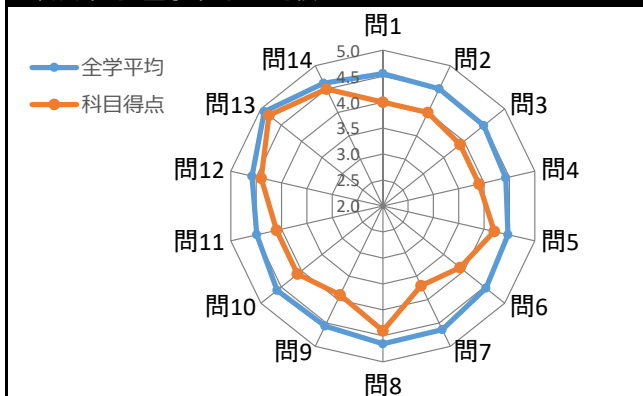
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[2G0011]	学部	さいたま看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	遠藤 公久		授業形態	講義	回答数	10	83.3%

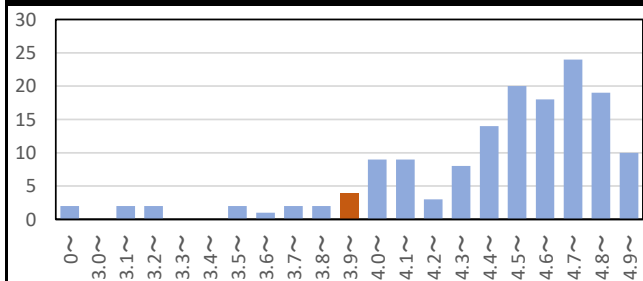
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1	8	1				4.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2	6	2				4.00	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2	5	3				3.90	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	2	5	3				3.90	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3	6	1				4.20	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	2	5	3				3.90	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1	6	2	1			3.70	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4	6					4.40	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3	5	2				3.90	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	2	7	1				4.10	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3	6	1				4.10	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4	6					4.40	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。		8	2				4.80	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	5					4.50	4.63
問1~14全問平均								4.13	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



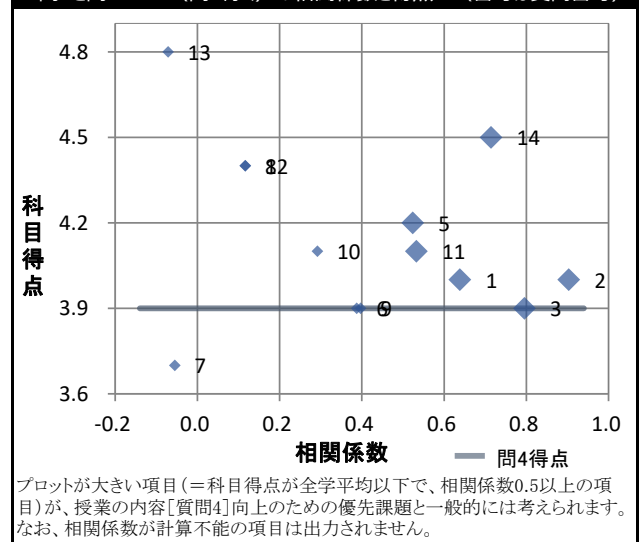
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[2G0012]	学部	さいたま看護学部	履修者数	12	回答率	91.7%
教員名	鷹田佳典		授業形態	講義	回答数	11		

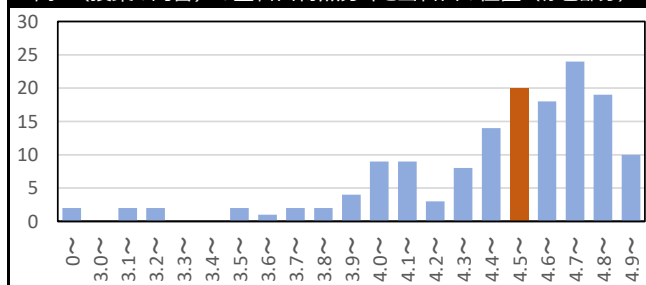
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 8 blue, 1 green, 2 yellow]						4.55	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 7 blue, 2 green, 2 yellow]						4.45	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 9 blue, 1 green, 1 yellow]						4.73	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下)だった。	[Bar chart: 11 blue]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.63
問1~14全問平均								4.69	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



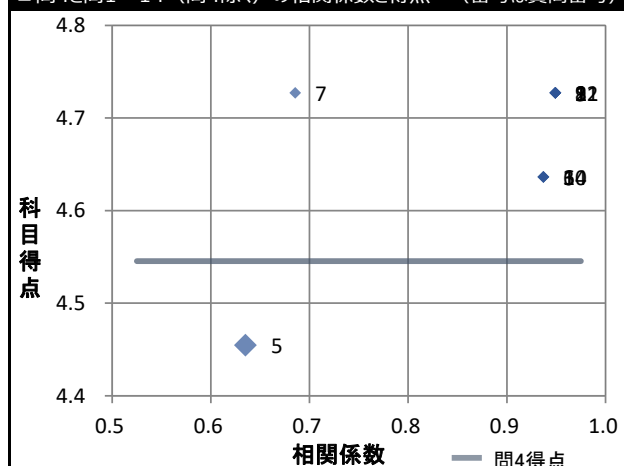
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

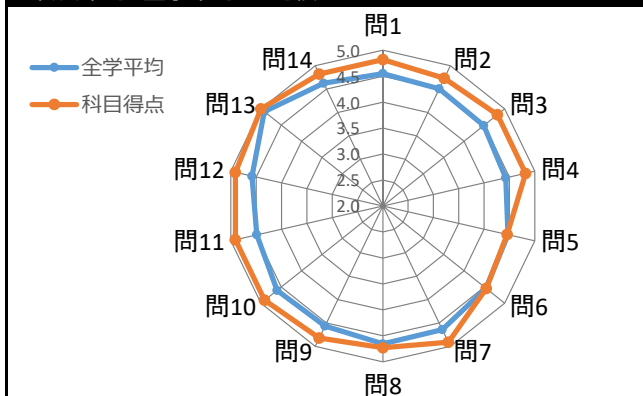
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[2G0013]	学部	さいたま看護学部	履修者数	11	回答率
教員名	白井美穂		授業形態	講義	回答数	11	100.0%

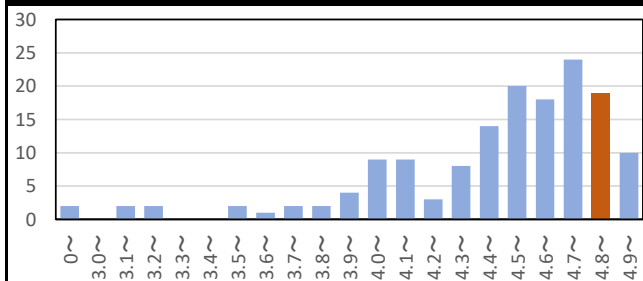
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 orange]						4.45	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 orange]						4.55	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 11 blue]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.63
問1~14全問平均								4.80	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較

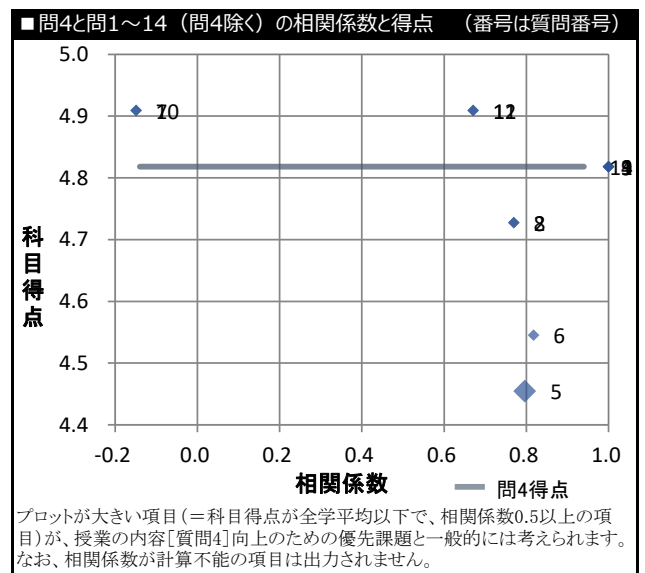


■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



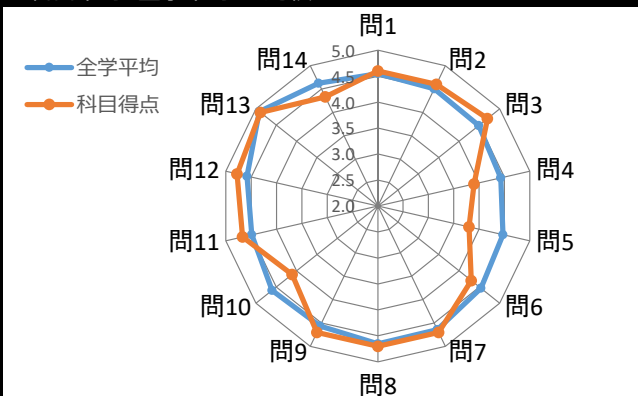
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	基礎ゼミ I	[2G0014]	学部	さいたま看護学部	履修者数	11	回答率	
教員名	角田敦彦		授業形態	講義	回答数	10	90.9%	

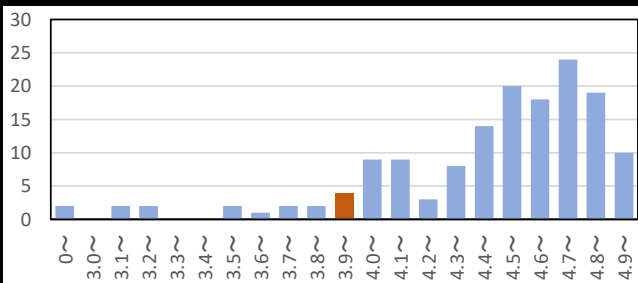
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 6 blue, 4 green]						4.60	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue, 4 green]						4.60	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 5 blue, 1 green, 3 yellow, 1 red]						3.90	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 4 blue, 2 green, 2 yellow, 2 red]						3.80	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green, 1 yellow, 1 red]						4.30	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 4 blue, 3 green, 1 yellow, 1 red, 1 orange]						4.11	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 6 blue, 3 green, 1 red]						4.67	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 7 blue, 2 green, 1 red]						4.78	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 8 blue, 1 green, 1 red]						4.89	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 4 blue, 4 green, 1 yellow, 1 red]						4.33	4.63
問1~14全問平均								4.48	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



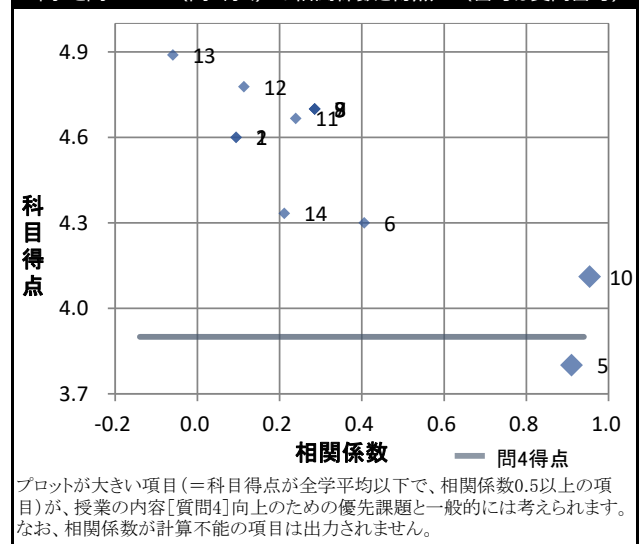
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

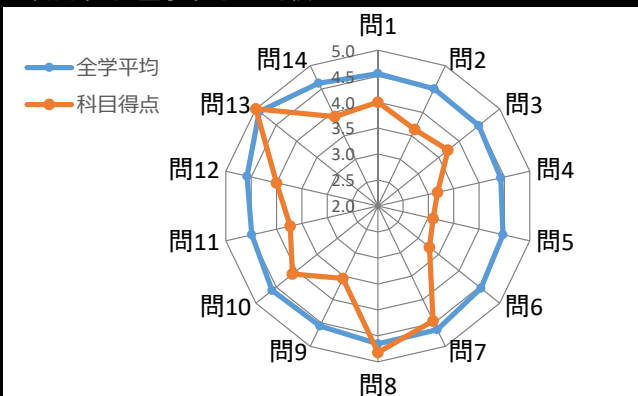
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[2G0015]	学部	さいたま看護学部	履修者数	11	回答率	
教員名	渋谷真樹		授業形態	講義	回答数	11	100.0%	

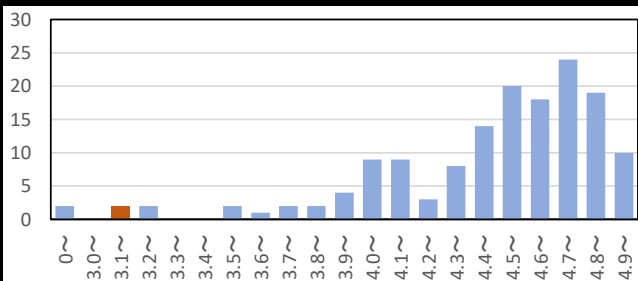
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3	5	3				4.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3	2	5	1			3.64	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	4	2	2			3.73	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	1	6	2	2			3.18	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1	4	3	1	2		3.09	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	3	3	2	3			3.27	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	7	2	2				4.45	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	2					4.82	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	2	4	3	2			3.55	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	4	4	1	1	1		4.10	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2	5	3	1			3.73	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5	2	3	1			4.00	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	11						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	4	2				3.91	4.63
問1~14全問平均								3.89	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



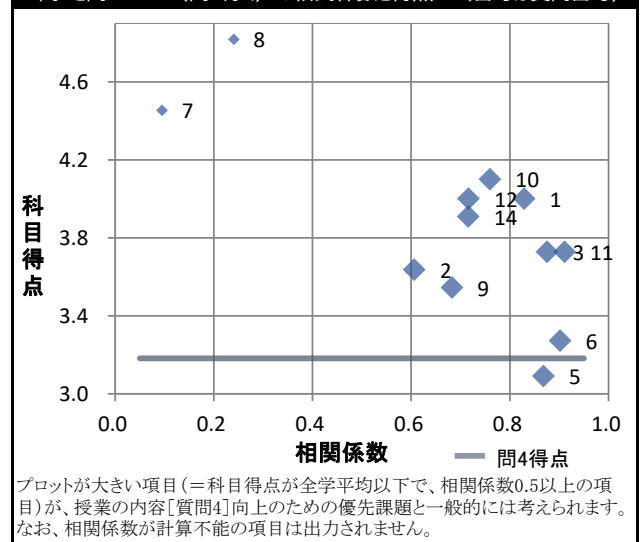
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)

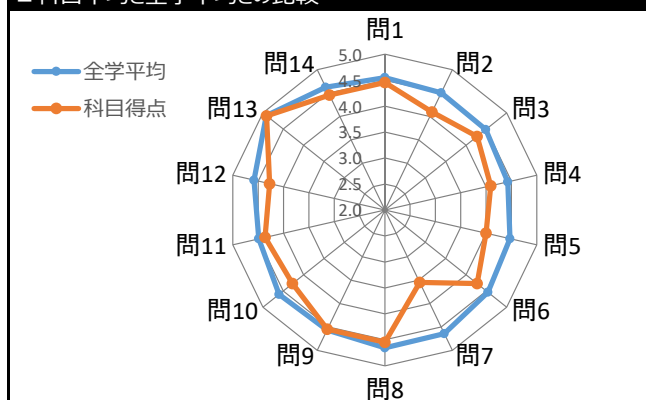


科目名	基礎ゼミ I	[2G0016]	学部	さいたま看護学部	履修者数	11	回答率	
教員名	井上明宏		授業形態	講義	回答数	11	100.0%	

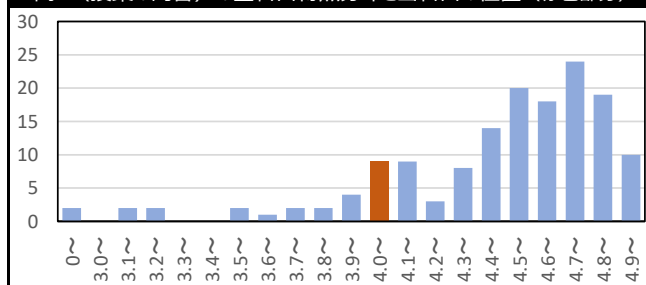
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[5: 強く思う, 6: そう思う]						4.45	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[3: どちらともいえない, 6: そう思う, 2: 強く思う]						4.09	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[4: 強く思う, 6: そう思う, 1: どちらともいえない]						4.27	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[4: 強く思う, 4: そう思う, 3: どちらともいえない]						4.09	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[3: 強く思う, 5: そう思う, 3: どちらともいえない]						4.00	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[5: 強く思う, 4: そう思う, 2: どちらともいえない]						4.27	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[1: 強く思う, 6: そう思う, 3: どちらともいえない, 1: 全くそうは思わない]						3.55	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[6: 強く思う, 5: そう思う]						4.55	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[6: 強く思う, 5: そう思う]						4.55	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[5: 強く思う, 4: そう思う, 2: どちらともいえない]						4.27	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[5: 強く思う, 5: そう思う, 1: どちらともいえない]						4.36	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[4: 強く思う, 6: そう思う, 1: どちらともいえない]						4.27	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[10: 強く思う, 1: 全くそうは思わない]						4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[5: 強く思う, 6: そう思う]						4.45	4.63
問1~14全問平均								4.29	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



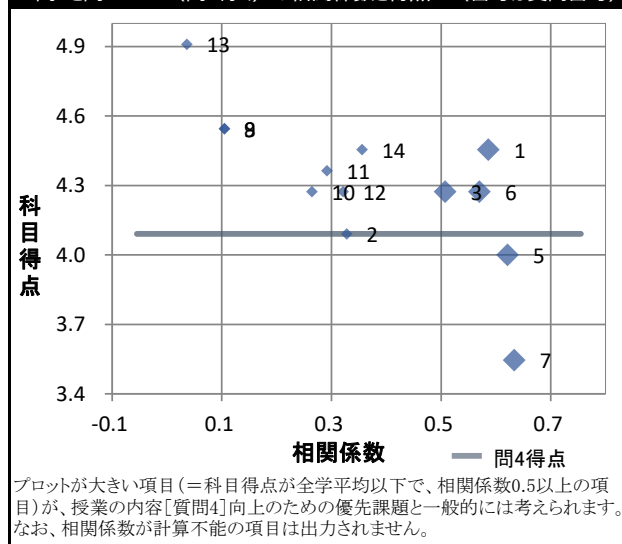
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

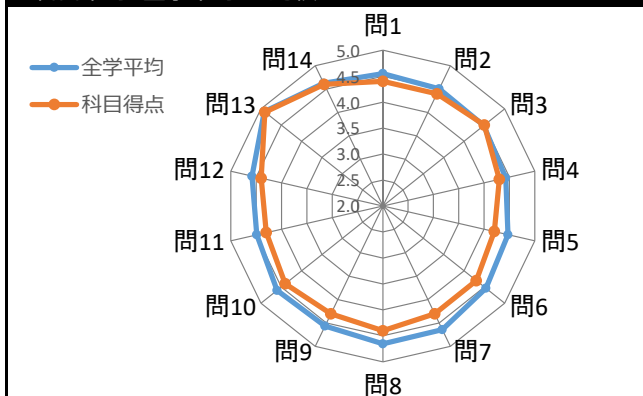
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	基礎ゼミ I	[2G0017]	学部	さいたま看護学部	履修者数	11	回答率	
教員名	宮崎正峰		授業形態	講義	回答数	10	90.9%	

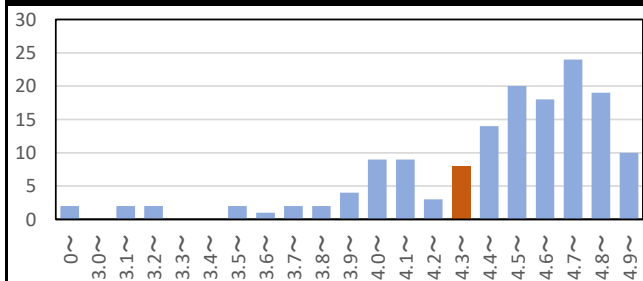
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4		6				4.40	4.55		
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4		6				4.40	4.50		
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5		5				4.50	4.48		
4	授業の内容はわかりやすかった。	4		5		1		4.30	4.43		
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4		5		1		4.20	4.47		
6	この授業は自分にとって価値があった。	4		5		1		4.30	4.54		
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4		5		1		4.30	4.64		
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4		6				4.40	4.65		
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	4		5		1		4.30	4.56		
10	教員の熱意が伝わってきた。	4		6				4.40	4.60		
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4		5		1		4.30	4.49		
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4		6				4.40	4.58		
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	9		1						4.90	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6		4				4.60	4.63		
問1~14全問平均								4.41	4.57		

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

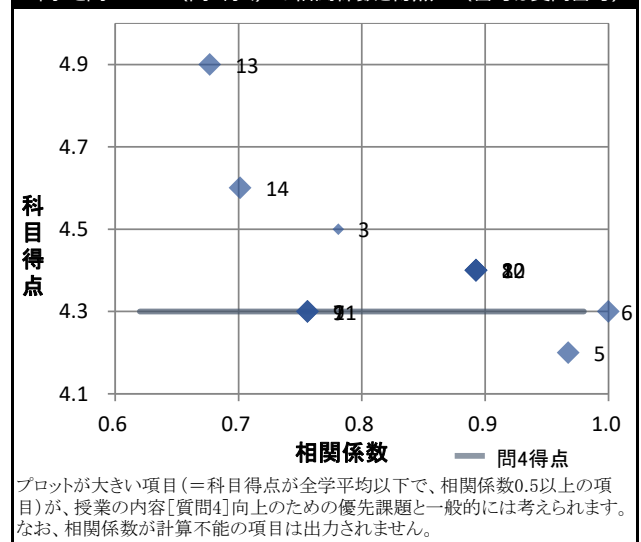


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



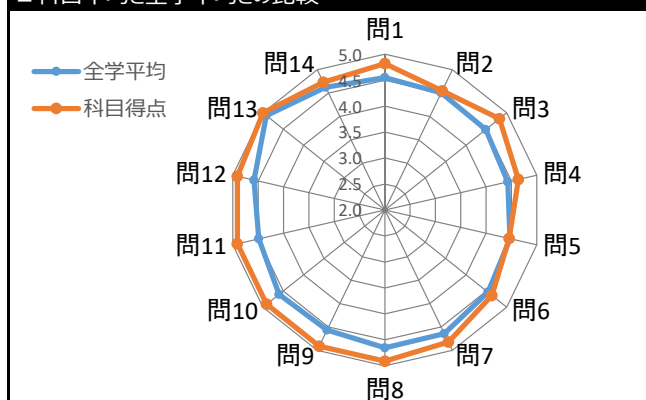
プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	基礎ゼミ I	[2G0018]	学部	さいたま看護学部	履修者数	11	回答率	
教員名	越後敬子		授業形態	講義	回答数	11	100.0%	

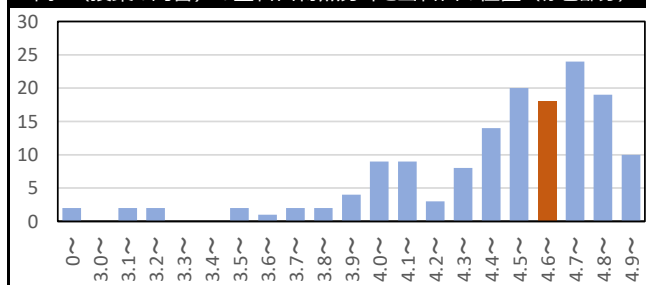
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 7 blue, 3 green, 1 yellow]						4.55	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 2 green]						4.82	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 7 blue, 2 green, 2 yellow]						4.45	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 10 blue, 1 yellow]						4.82	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 10 blue, 1 green]						4.91	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar chart: 11 blue]						5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 8 blue, 3 green]						4.73	4.63
問1~14全問平均								4.79	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較

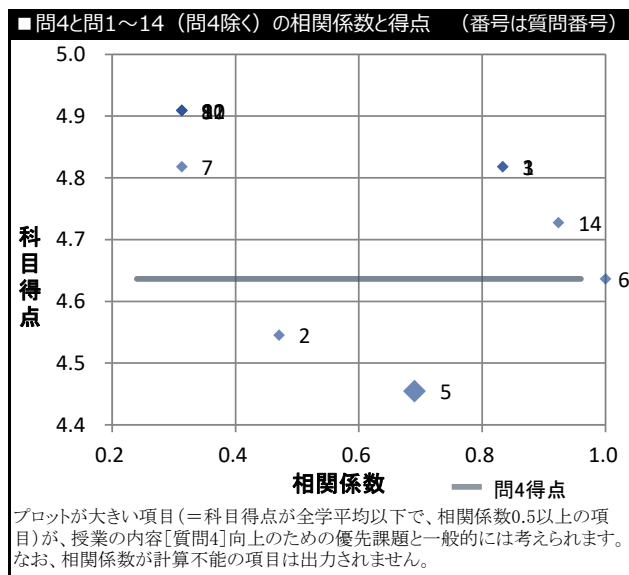


■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

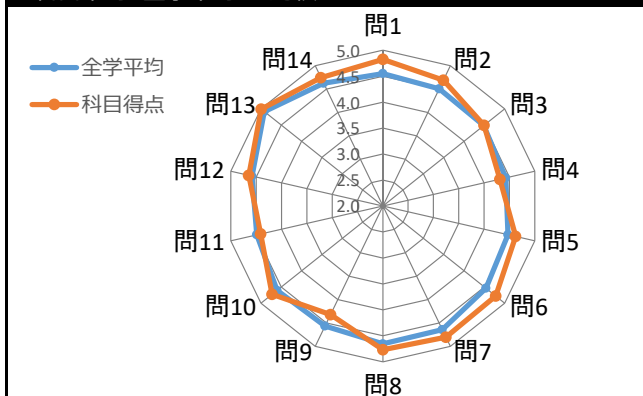
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	人体の構造と機能 I (解剖生理学・生化学①)	[2H0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率	
教員名	白井美穂		授業形態	講義	回答数	90	100.0%	

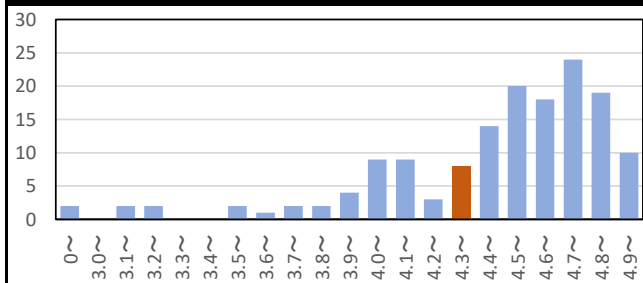
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.82	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.69	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.49	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.31	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.62	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.78	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.80	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.77	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.32	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.72	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.41	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.64	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								4.99	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.74	4.63
問1~14全問平均								4.65	4.57	

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

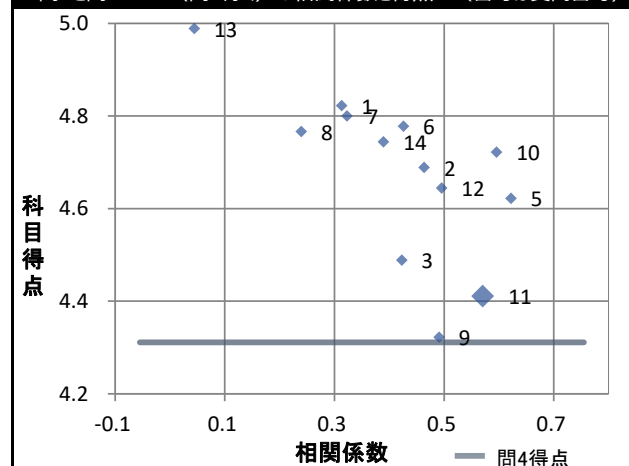


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

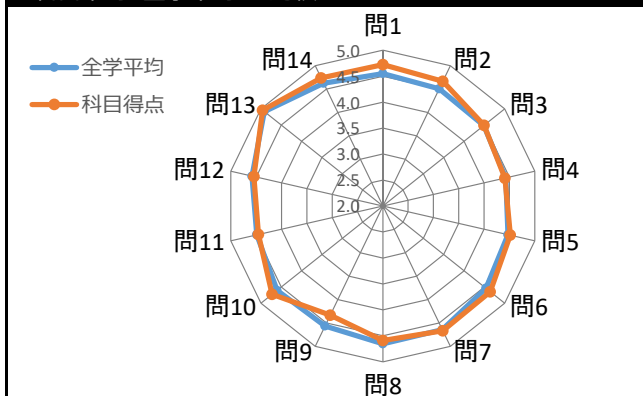
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	人体の構造と機能Ⅱ(解剖生理学・生化学②)	[2H0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率	
教員名	白井美穂		授業形態	講義	回答数	90	100.0%	

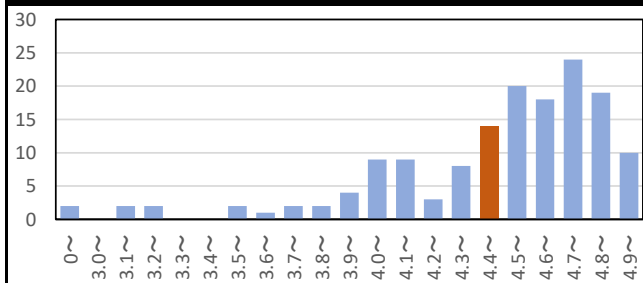
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 65% Blue, 25% Green]						4.72	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 60% Blue, 30% Green]						4.67	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 55% Blue, 25% Green, 9% Yellow]						4.49	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 45% Blue, 37% Green, 8% Yellow]						4.41	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 52% Blue, 32% Green, 4% Yellow]						4.52	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 58% Blue, 32% Green]						4.64	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 62% Blue, 26% Green]						4.67	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 56% Blue, 31% Green, 3% Yellow]						4.59	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 48% Blue, 27% Green, 12% Yellow, 3% Orange]						4.33	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 66% Blue, 23% Green]						4.72	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 50% Blue, 32% Green, 7% Yellow]						4.46	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 53% Blue, 33% Green, 4% Yellow]						4.54	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 86% Blue, 4% Yellow]						4.96	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 66% Blue, 24% Green]						4.73	4.63
問1~14全問平均								4.60	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

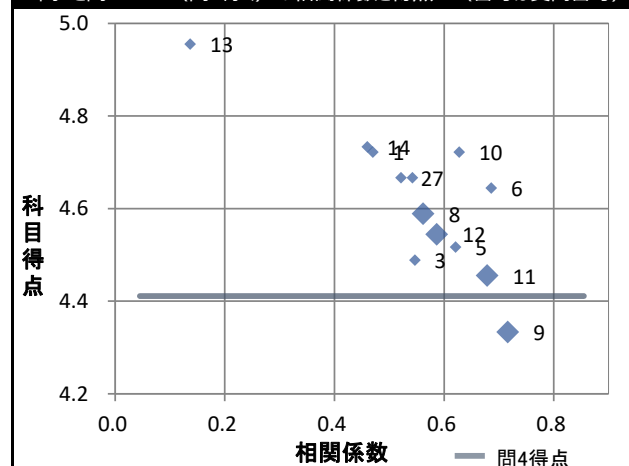


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

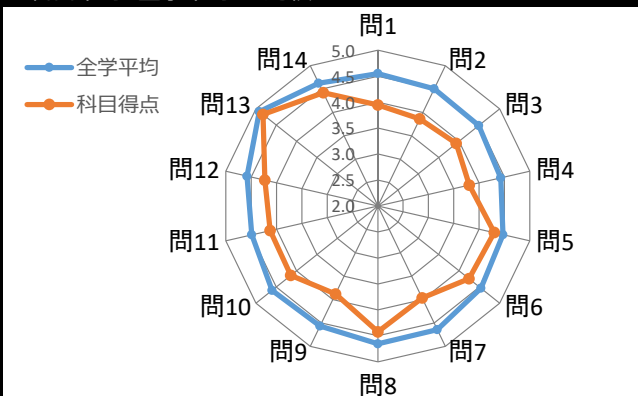
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(疾病論:呼吸、循環、腎・泌尿器)	[2H0050]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率	
教員名	岡田彩子		授業形態	講義	回答数	57	64.8%	

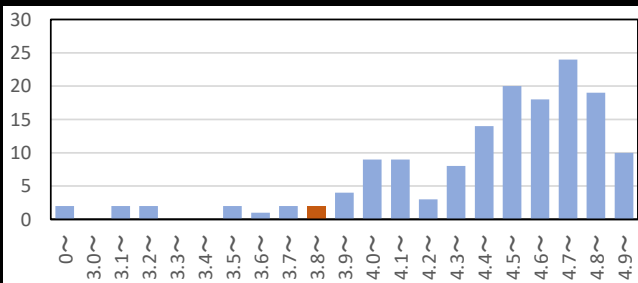
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	19	26	4	6	2		3.95	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	19	18	15	3	2		3.86	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	23	11	4			3.93	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	15	22	15	4			3.81	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	26	23	7				4.30	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	23	27	5	2			4.25	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	20	19	14	4			3.96	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	28	25	4				4.42	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	18	21	12	5			3.88	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	20	28	7				4.14	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	20	26	9	2			4.12	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	22	27	7				4.23	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	48	8					4.82	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	27	27	3				4.42	4.63
問1~14全問平均								4.15	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



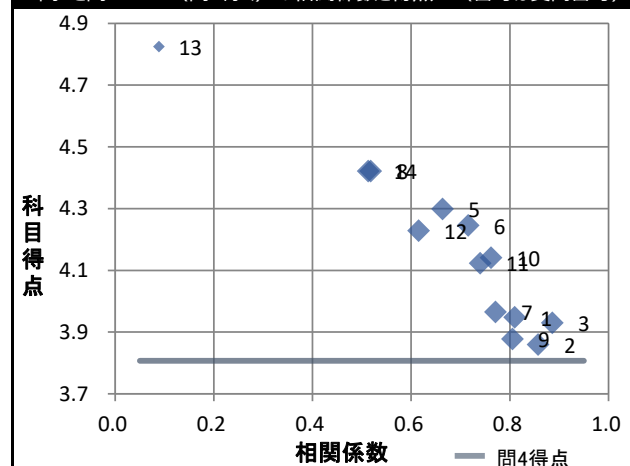
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

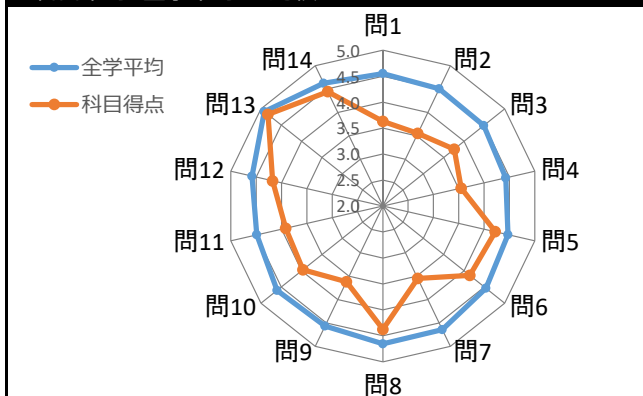
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論:運動器、脳・神経、乳腺、感覚器)	[2H0060]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原秀盛		授業形態	講義	回答数	86	97.7%	

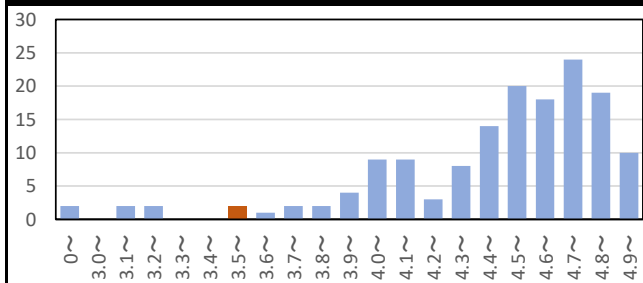
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	21	32	17	12	4		3.63	4.55	
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	21	24	24	13	3		3.55	4.50	
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	23	30	22	11			3.76	4.48	
4	授業の内容はわかりやすかった。	21	25	23	14	3		3.55	4.43	
5	授業の内容は興味のあるものだった。	34	41	7	4			4.22	4.47	
6	この授業は自分にとって価値があった。	34	32	18				4.14	4.54	
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	25	19	22	18			3.55	4.64	
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	45	30	9				4.37	4.65	
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	26	21	22	14	3		3.62	4.56	
10	教員の熱意が伝わってきた。	31	29	20	4			3.97	4.60	
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	33	25	18	8			3.92	4.49	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	38	31	12	4			4.17	4.58	
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	75					8		4.83	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	48	29	8				4.44	4.63	
問1~14全問平均								3.98	4.57	

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

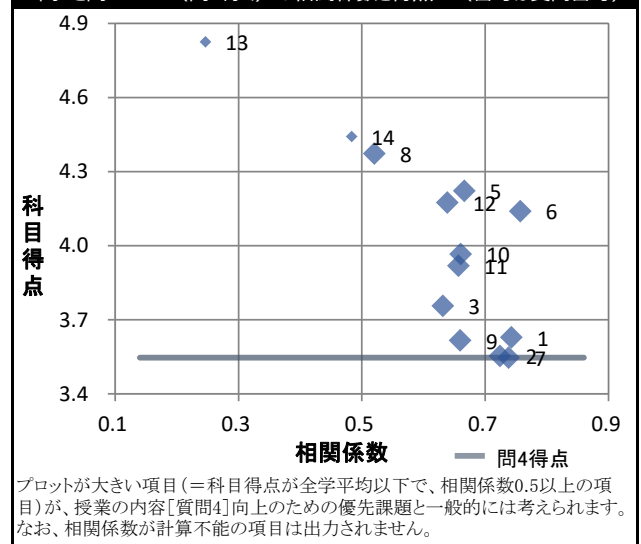


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

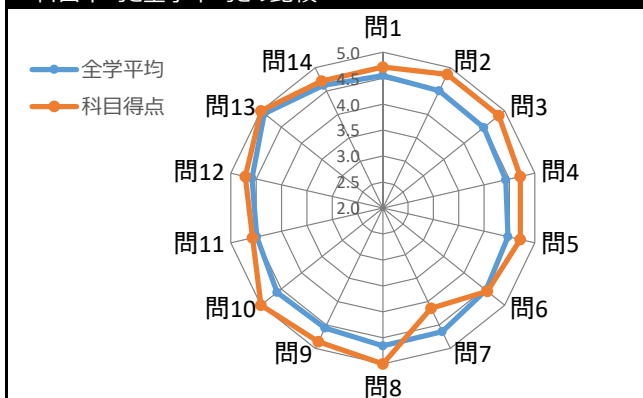
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	ラボラトリー・プラクティス	[2H0150]	学部	さいたま看護学部	履修者数	11	回答率	
教員名	天野雅子		授業形態	講義	回答数	7	63.6%	

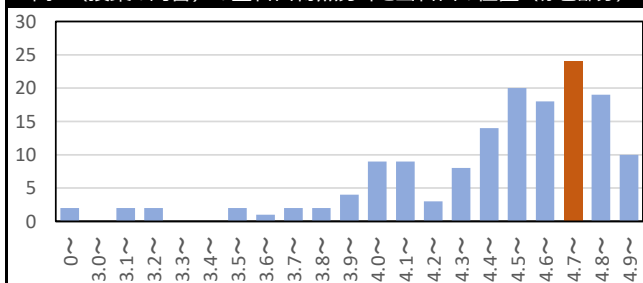
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 5 blue, 2 green]							4.71	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green]							4.86	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green]							4.86	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 5 blue, 2 green]							4.71	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 5 blue, 2 green]							4.71	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 4 blue, 3 green]							4.57	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 4 blue, 3 yellow]							4.14	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 7 blue]							5.00	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green]							4.86	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 7 blue]							5.00	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 4 blue, 3 green]							4.57	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 5 blue, 2 green]							4.71	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下)だった。	[Bar chart: 7 blue]							5.00	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 5 blue, 2 green]							4.71	4.63
問1~14全問平均								4.74	4.57	

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

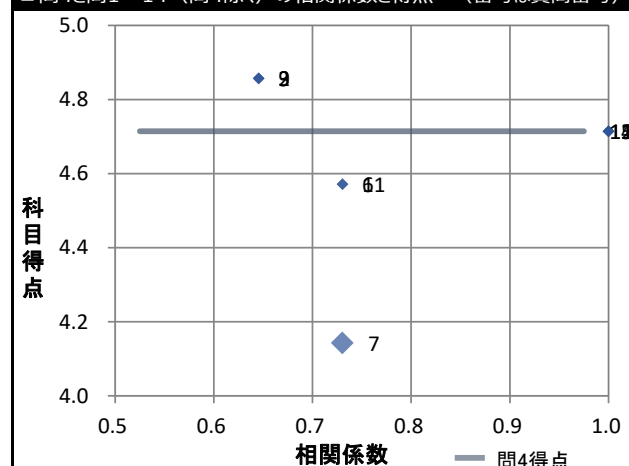


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

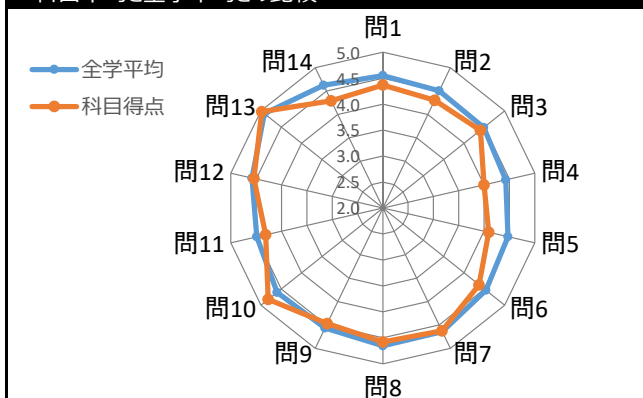
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	看護学概論 I	[210010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	岡田彩子		授業形態	講義	回答数	90	100.0%

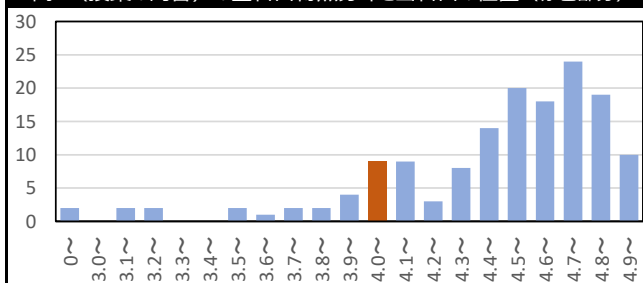
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 35% (blue), 53% (green), 12% (yellow)]						4.37	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 36% (blue), 45% (green), 19% (yellow)]						4.30	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 50% (blue), 30% (green), 20% (yellow)]						4.40	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 27% (blue), 41% (green), 32% (yellow)]						4.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 33% (blue), 35% (green), 32% (yellow)]						4.09	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 44% (blue), 34% (green), 22% (yellow)]						4.37	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 63% (blue), 21% (green), 16% (yellow)]						4.62	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 54% (blue), 34% (green), 12% (yellow)]						4.58	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 49% (blue), 35% (green), 16% (yellow)]						4.47	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 72% (blue), 16% (green), 12% (yellow)]						4.82	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 42% (blue), 35% (green), 23% (yellow)]						4.31	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 53% (blue), 33% (green), 14% (yellow)]						4.54	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 88% (blue), 12% (green)]						4.98	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 38% (blue), 41% (green), 21% (yellow)]						4.29	4.63
問1~14全問平均								4.44	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

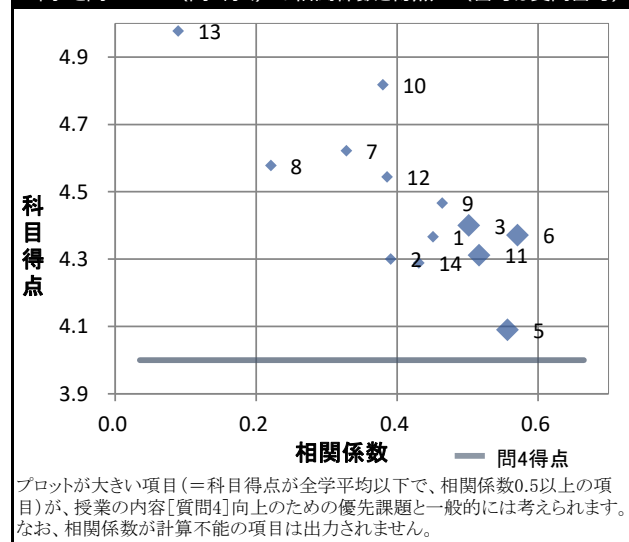


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

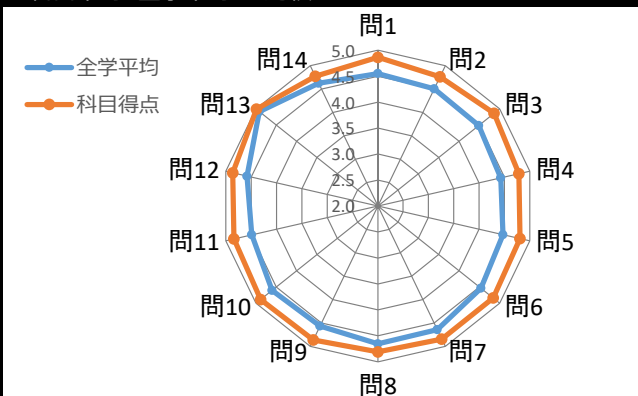
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)	[2K0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	喜多里己		授業形態	講義	回答数	88	97.8%

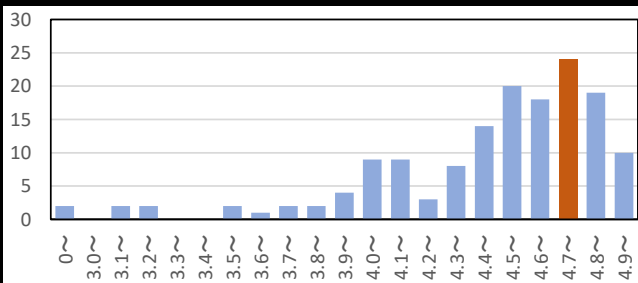
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.86	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.76	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 75% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.86	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.78	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.81	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.84	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 75% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.84	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']						4.81	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.86	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 77% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.89	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.84	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 76% 'Strongly agree' and 12% 'Agree']						4.86	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 87% 'Strongly agree']						4.99	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.77	4.63
問1~14全問平均								4.84	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

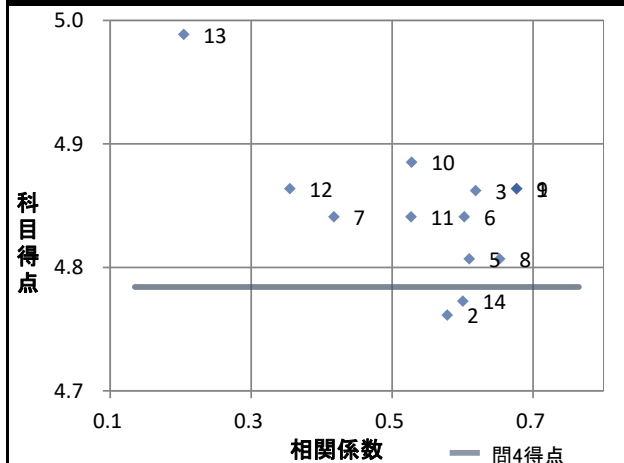


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Green]	5	強く思う
[Blue]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

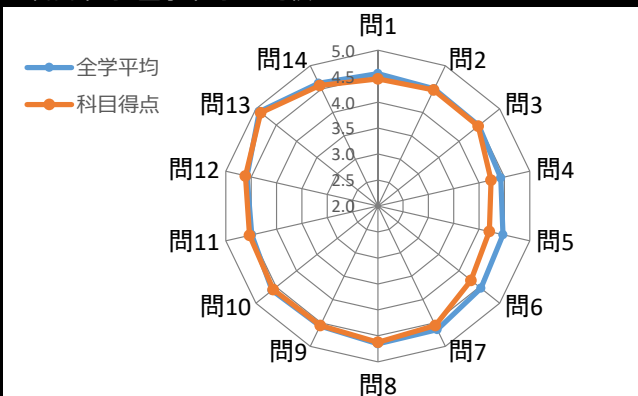
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	コミュニティ論 I	[2L0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	鷹田佳典		授業形態	講義	回答数	85	94.4%

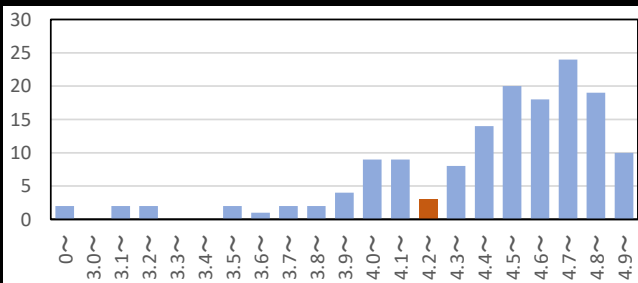
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 4% 'Disagree', 16% 'Strongly disagree']						4.45	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree', 34% 'Agree', 5% 'Disagree', 15% 'Strongly disagree']						4.48	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree', 37% 'Agree', 4% 'Disagree', 15% 'Strongly disagree']						4.47	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 38% 'Strongly agree', 34% 'Agree', 9% 'Disagree', 19% 'Strongly disagree']						4.24	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 38% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 15% 'Disagree', 18% 'Strongly disagree']						4.20	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 13% 'Disagree', 16% 'Strongly disagree']						4.29	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 51% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 4% 'Disagree', 15% 'Strongly disagree']						4.55	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 16% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.62	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 34% 'Agree', 17% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.55	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 3% 'Disagree', 15% 'Strongly disagree']						4.58	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 48% 'Strongly agree', 34% 'Agree', 3% 'Disagree', 15% 'Strongly disagree']						4.53	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 16% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.61	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 74% 'Strongly agree', 10% 'Disagree', 16% 'Strongly disagree']						4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 4% 'Disagree', 15% 'Strongly disagree']						4.58	4.63
問1~14全問平均								4.50	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

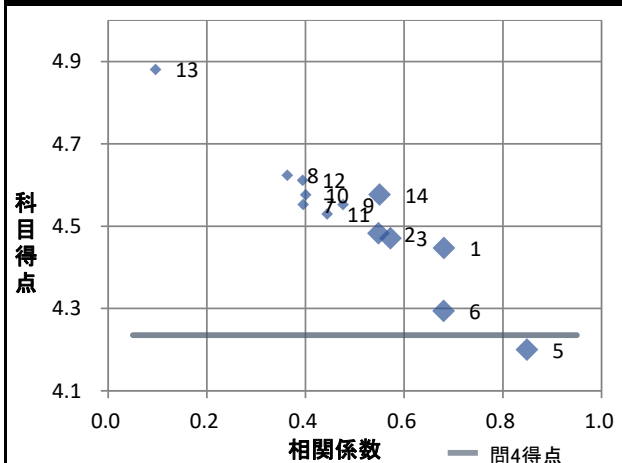


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

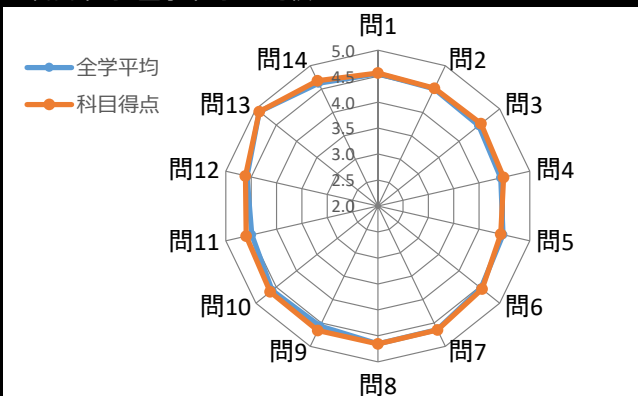
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	コミュニティ論Ⅱ	[2L0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率	
教員名	成木弘子		授業形態	講義	回答数	85	96.6%	

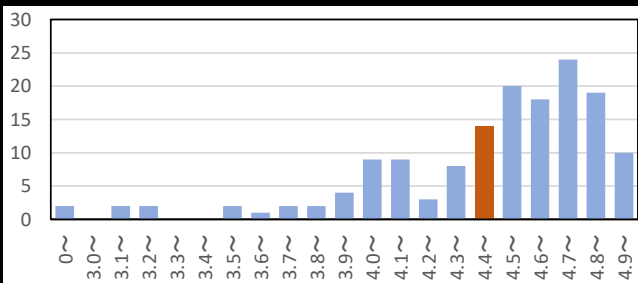
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 53% '5', 26% '4', 4% '3']						4.56	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 51% '5', 28% '4', 5% '3']						4.52	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 51% '5', 29% '4', 5% '3']						4.54	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 50% '5', 27% '4', 7% '3']						4.48	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 48% '5', 27% '4', 7% '3']						4.43	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 56% '5', 22% '4', 6% '3']						4.56	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 58% '5', 24% '4', 3% '3']						4.65	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 59% '5', 21% '4', 4% '3']						4.65	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 60% '5', 21% '4', 4% '3']						4.66	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 60% '5', 20% '4', 5% '3']						4.65	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 57% '5', 20% '4', 7% '3']						4.60	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 58% '5', 22% '4', 4% '3']						4.61	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 77% '5', 7% '3']						4.92	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 61% '5', 20% '4']						4.68	4.63
問1~14全問平均								4.61	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

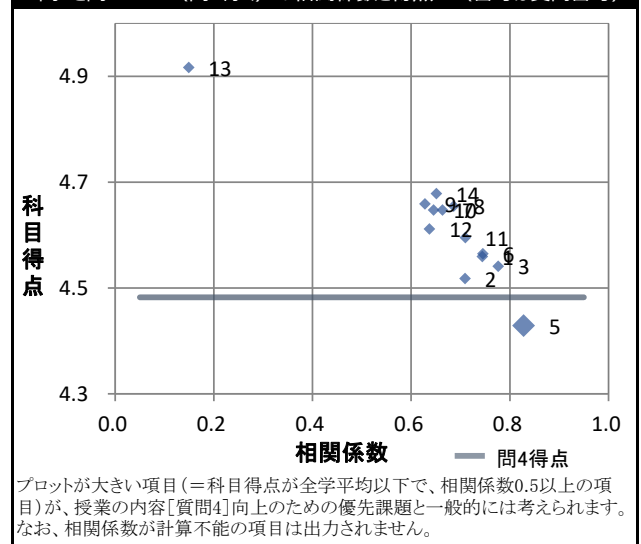


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

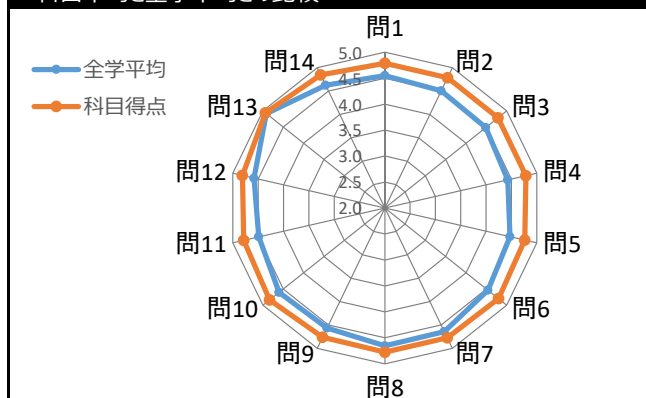
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	慢性期ケア	[2M0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	仁昌寺貴子		授業形態	講義	回答数	84	95.5%

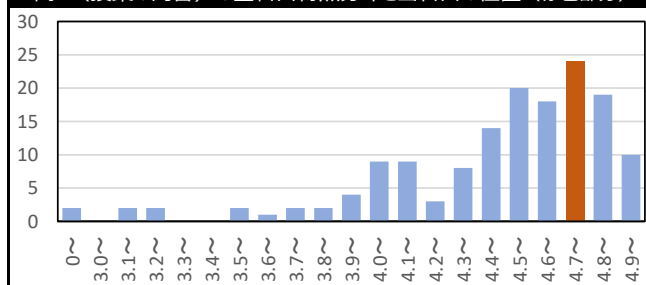
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.79	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.79	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.79	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.79	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.76	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']						4.80	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']						4.77	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.77	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.76	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.83	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.79	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.81	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 79% 'Strongly agree' and 5% 'Agree']						4.94	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.85	4.63
問1~14全問平均								4.80	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

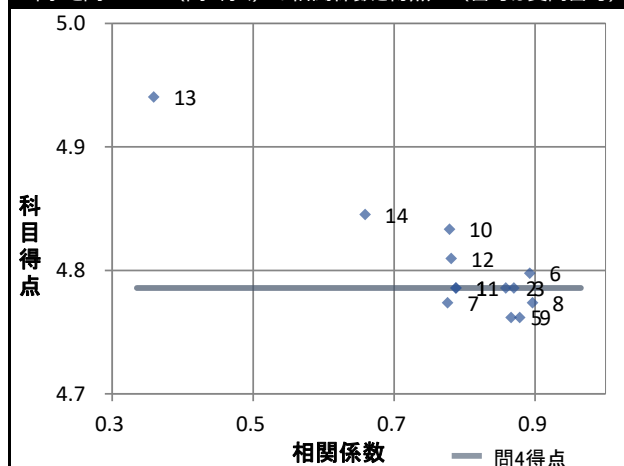


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

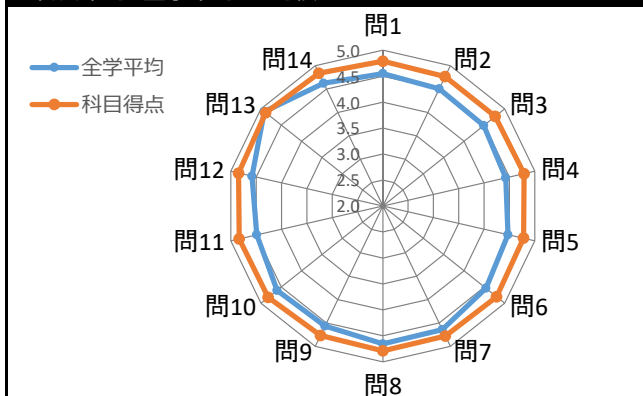
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	急性期ケア	[2M0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原秀盛		授業形態	講義	回答数	85	96.6%	

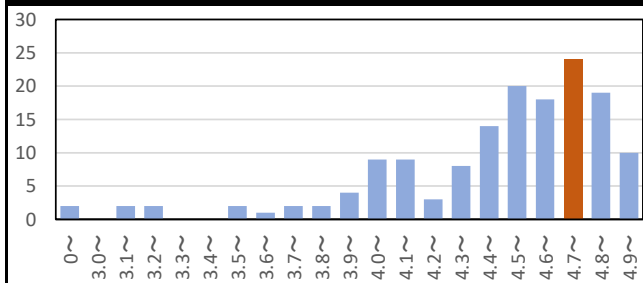
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.79	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.76	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.76	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.79	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.78	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.80	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 19% 'Agree']						4.78	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.79	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.76	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.82	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.84	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.85	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 75% 'Strongly agree' and 10% 'Agree']						4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.84	4.63
問1~14全問平均								4.80	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



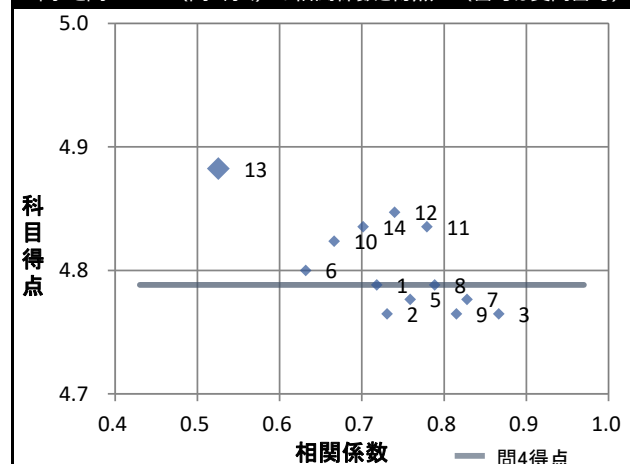
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

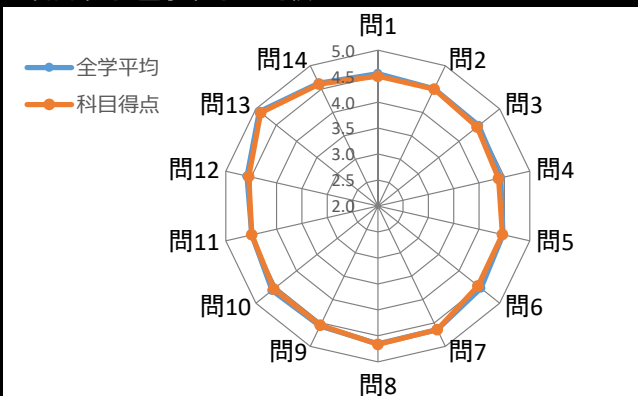
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	発達看護学概論	[2N0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率	
教員名	喜多里己		授業形態	講義	回答数	86	97.7%	

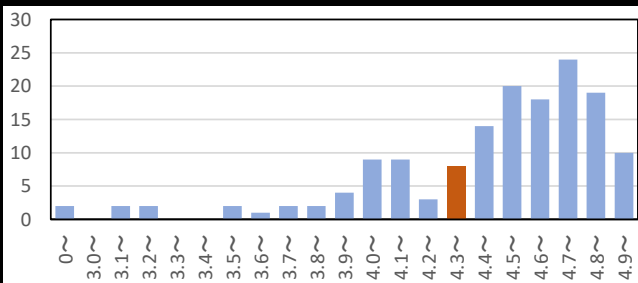
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 47% 'Strongly agree', 36% 'Agree']						4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 46% 'Strongly agree', 37% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.50	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 45% 'Strongly agree', 35% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.44	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 42% 'Strongly agree', 37% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.38	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 47% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.46	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 46% 'Strongly agree', 34% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.47	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 56% 'Strongly agree', 29% 'Agree']						4.64	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 58% 'Strongly agree', 27% 'Agree']						4.66	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 53% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.55	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 55% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.56	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 49% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.49	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 50% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.55	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 76% 'Strongly agree', 10% 'Agree']						4.88	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 56% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.60	4.63
問1~14全問平均								4.55	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



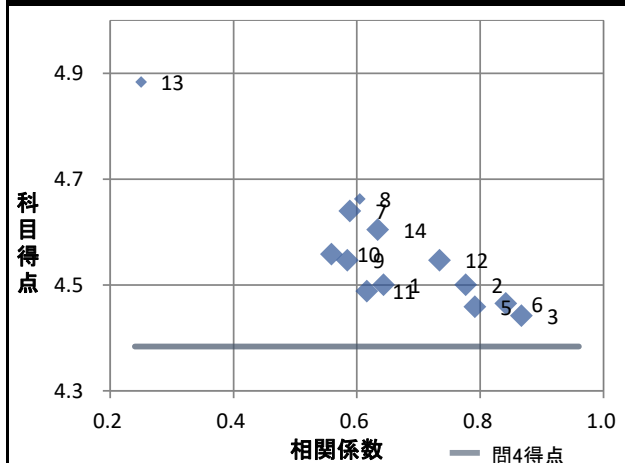
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	発達看護学(成人期の看護)	[2N0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原秀盛		授業形態	講義	回答数	87	98.9%	

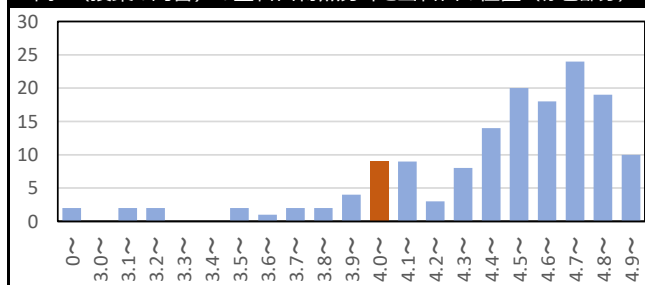
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	42		40		5		4.43	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	38		37		10		4.28	4.50
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	37		32		15	3	4.18	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	32		37		10	7	4.06	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	32		28		22	4	4.02	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	40		33		11	3	4.26	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	48		29		7	3	4.40	4.64
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	44		37		5		4.43	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	47		35			3	4.45	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	53		29			3	4.53	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	46		30		7	3	4.34	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	51		27		6	3	4.45	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	78					8	4.89	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	45		34			5	4.39	4.63
問1~14全問平均								4.36	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

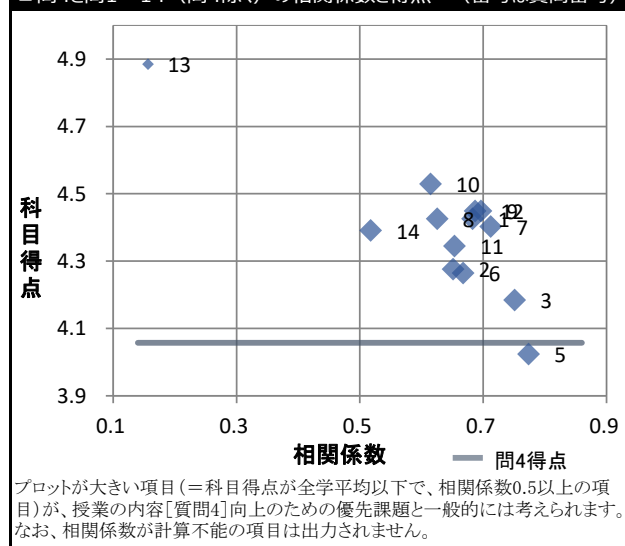


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	災害看護論	[2P0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	池田稔子		授業形態	講義	回答数	86	95.6%

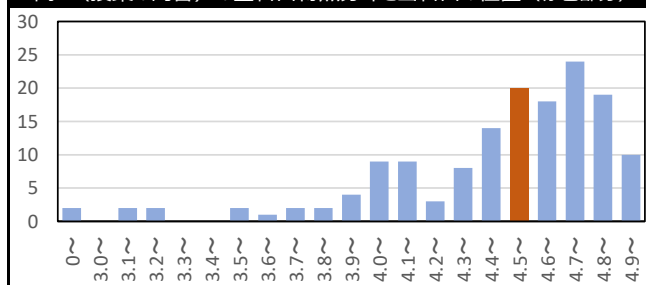
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar Chart: 55% (Blue), 30% (Green), 15% (Yellow)]						4.63	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar Chart: 55% (Blue), 29% (Green), 16% (Yellow)]						4.62	4.50
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	[Bar Chart: 56% (Blue), 28% (Green), 16% (Yellow)]						4.63	4.48
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar Chart: 53% (Blue), 30% (Green), 17% (Yellow)]						4.58	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar Chart: 56% (Blue), 28% (Green), 16% (Yellow)]						4.63	4.47
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar Chart: 57% (Blue), 28% (Green), 15% (Yellow)]						4.65	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar Chart: 65% (Blue), 21% (Green), 14% (Yellow)]						4.76	4.64
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	[Bar Chart: 66% (Blue), 20% (Green), 14% (Yellow)]						4.77	4.65
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar Chart: 62% (Blue), 24% (Green), 14% (Yellow)]						4.72	4.56
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar Chart: 60% (Blue), 23% (Green), 17% (Yellow)]						4.66	4.60
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar Chart: 59% (Blue), 25% (Green), 16% (Yellow)]						4.66	4.49
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar Chart: 60% (Blue), 22% (Green), 18% (Yellow)]						4.65	4.58
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	[Bar Chart: 80% (Blue), 6% (Green), 14% (Yellow)]						4.93	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar Chart: 61% (Blue), 22% (Green), 17% (Yellow)]						4.67	4.63
問1~14全問平均								4.68	4.57

■ 科目平均と全学平均との比較



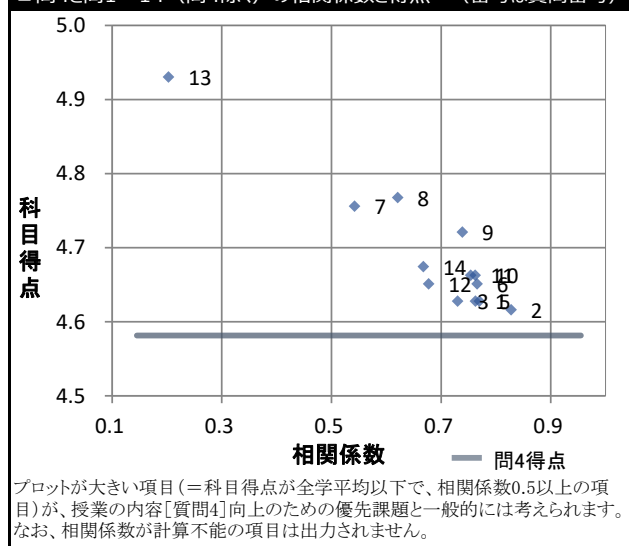
■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
2A0010	赤十字概論	角田敦彦	例年になく、また広尾の同科目と正反対ともいえる評価でした。改善を希望する多くの意見は出席の取り方のようなのですが、ガイダンスで説明したとおりの出欠確認ですし、サボって帰る人が多いのは出席の取り方が原因ではなく、学習意欲の問題です。きちんと出席している人は、サボる人と自分を比較する必要もなければ、まじめに出席することをばからしくする必要もありません。サボることはせっかく払っている授業料の浪費ですし、学べなかったこともまた自己責任です。大学での学びとはそのようなものだとは私は考えています。前の回の授業の質問等へのフィードバックが長すぎるとのコメントもありましたが、これもガイダンスで(学生の疑問やコメントに応える時間30分程度+新たな内容60分程度と)お伝えしたとおりで進めています。これは新たな内容と同じくらい、学生が疑問に思ったことや理解が難しいと感じたことが、学生の求める内容に応えることになるからです。昨年の大宮キャンパスの学生の評価と広尾の学生の評価がほぼ一致していることから、今回のコメントも参考にはさせていただきますが、次年度以降もこの方式で進めていきます。
2B0030	心理学概論	遠藤公久	概ね良好の評価であったかと思います。授業の時間の開始については、とくにネットに入るときに戸惑うことが多く、迷惑をおかけしたように思います。改善していきたいと思います。
2D0030	化学	三好 洋	講義で良い点と挙げていただいた、「必要な部分と必要でない部分」は看護に対しての「必要な」化学知識を意識しているので、伝わっていたら嬉しく思います。できれば、受講生には改善すべき点も挙げて欲しかったです。
2E0030	保健統計学	川崎 洋平	看護師を目指す学生に、もっと興味のある題材(例)を増やして取り上げ、統計学に興味を持ってもらうよう改善していきたいと思います。
2F0021	英語RW I	川崎修一	過大な評価をありがとうございました。これを励みに更に精進したいと思います。
2F0022	英語RW I	遠藤花子	ハイブリッド型の授業でパソコンのトラブルが多発してしまったこと、お詫びいたします。これからも自分の意見を大切に、英語学習も頑張ってください。
2F0040	英語RWIII	川崎修一	過大な評価をありがとうございました。これを励みに更に精進したいと思います。
2F0052	英語LS	高杉 キャサリン	Thank you for the feedback.
2F0054	英語LS	高杉 キャサリン	Thank you for the feedback.
2F0060	英語文献を読む	遠藤花子	履修者が87名というのは想定以上だったこともあり、また、ハイブリッド型の授業でパソコントラブルもあつたりと、ご迷惑をお掛けしましたこと、お詫びいたします。これからも自分の意見を大切に、英語学習も頑張ってください。

2F0070	中国語Ⅰ	神谷 智幸	<p>集計結果につきまして、担当教員よりコメントを述べたいと思います。はじめに、語学の授業としては大変多い1クラス68名という履修者数ではありましたが、無事全日程を終え、（私の力でサポートができた方は）全員合格という結果になりました。みなさんのご協力と熱心な取り組みに感謝申し上げます。アンケートは67名（98.5%）回答されておりますので、およそクラスの総意を示していると考えて良いと思うのですが、結果は14項目中10項目が全学平均を下回るという情けない評価となりました。以下、頂きました回答とコメントに対して、今後どのように改善していくか現時点でのコメント（言い訳）を述べたいと思います。もっとも大きな問題は、「授業の内容は分かりやすかった」「授業の内容は興味のあるものだった」「この授業は自分にとって価値があった」という授業の根幹に関わる部分が最も得点が悪かったという点です。「中国語」がみなさんの専門領域ではないということはありませんが、教員としては医療従事者になった際、知っておいていただきたい中国語・中国文化を紹介しつつ、「他者」への関心を持ってもらえるよう授業を運営いたしました。5名の方が「良いと思った点」として具体的なポイントを書いてくださっています。その一方で、「授業の進み方がはやい」というご意見が2件ありました。教員は毎回「アンケート」などを駆使しながら、適宜進み方も調整していましたが、全員とうまく意思疎通ができていなかったということで、今後は学生ひとりひとりの意見がきちんと届くよう伺い方を工夫したいと思います。また、今学期は「すべて対面授業で受講」「5月のみ遠隔対応で受講」「6月のみ遠隔対応で受講」「5月・6月ともに遠隔対応で受講」という4つの受講形態に分かれたことも理解度が下がってしまった要因のひとつと考えております。教員はオンライン教材を毎回アップすることにより、どの受講形態の方にもきちんと授業内容が伝わるよう注意しつつ、前述の「アンケート」やGlexaの「メール」を利用して、遠隔対応の学生にも個別に連絡を取ってまいりました。これらの対応に関</p>
2F0090	韓国語Ⅰ	高昌弘	<p>【授業で良いと思った点】・小テストが授業内に終わるので嬉しいです。・理解しやすかった。・先生が優しくかったので、韓国語を好きになれました。楽しめました。・毎回楽しい授業で、分かりやすかったです。プリントが見やすいです。・とても面白かった。とくに最後の映画は大泣きした。韓流ドラマを見ていて、知ってる！となったり、ハンゲルを読めるようになったりしたのが楽しかった。・映画を見れたこと。速度が適切だったこと。・とても楽しかったです。ありがとうございました！【授業で改善した方が良いと思う点】・前回の内容の復習が授業内にあると定着しやすいと思う。・先生にマイクを使って話していただきたいです。（高）：皆さんが楽しく韓国語を学習することができ、少しハンゲルが読めるようになったようで非常に嬉しいです。教え甲斐があります。小テストを毎回授業が終わる前にやっている理由は、色々やってみました、学んだことをその場で覚え、ちゃんと覚えているかどうかを確かめた方が良いと思ったからです。今までは前回の内容を復習する時間を設けなかったのですが、これからは授業に入る前に少し復習をする時間を設けます。以前、市販のテキストを使って授業をやったこともありますが、自分が教えたい、教えやすい内容とはギャップがあったためオリジナルテキストを使っています。語学の勉強って教科書以外でも学べる材料はたくさんあります。教科書だと教えるために作られた物なので自然ではない内容や表現が使われることもあるのですが、映画やドラマを見ることで生の韓国語が聴ける、なかなか教科書では学べない表現を身に付けることができるので韓国映画をお見せしています。皆さんの好きな韓国語の材料を見つけ、韓国語の勉強を楽しんでください。</p>
2G0011	基礎ゼミⅠ	遠藤公久	<p>全体的に皆さんの評価はあまり良いものではありませんでした。授業速度が速く理解が追い付かないというのが原因の1つようです。反省すべき点もありますので、来年はその点を改善したいと思います。</p>
2G0012	基礎ゼミⅠ	鷹田佳典	<p>全体のうち、「授業の内容は興味のあるものだった」のスコアがやや低かったので、授業内で取り上げる内容を見直し、受講者により興味を持ってもらえる工夫をしたいと思います。</p>
2G0013	基礎ゼミⅠ	白井美穂	<p>皆様アンケート回答頂きありがとうございます。良い評価を頂きましたが、改善した方が良い点として、基礎ゼミⅠとⅡで同じ先生、同じ生徒が良かったとのご意見を頂きました。このご意見を基礎ゼミの授業担当の先生にお伝えいたします。</p>

2G0014	基礎ゼミⅠ	角田敦彦	基礎ゼミは、これから学生生活の中で必要な、文章を書くための基本的な知識や技術を習得するものですが、興味・関心には個人差があったようです。自分にとって価値あるものかも知れませんが、必要な知識として着実に身につけようとする姿勢も大切です。次年度以降は、まずその動機付けから工夫していきたいと思います。
2G0015	基礎ゼミⅠ	渋谷 真樹	授業の内容や方法に課題がありました。とりわけ対面とオンラインとのハイブリッド型授業では、受講生への配慮が行き届かず、分からないまま取りこぼしてしまったことがありました。情報処理室の学習環境に慣れるとともに、課題の出し方や理解の確認の仕方を改善したいと思います。
2G0016	基礎ゼミⅠ	井上明宏	・遠隔授業と対面授業が混在するなど、戸惑いもあったかと思います。他にもいろいろ科目を受講する中で、負担も感じたかもしれませんが、基礎ゼミは1年次の科目の中でも最も大学の授業らしい科目でもあると考えます。辛抱して学修していただいただけの実力はついていると思います。・終了時刻は数分延びることはあったかもしれませんが、履修生にプレゼンしてもらう場合には、時間の進み方は想定通りにはいかないこともあります。・レポートは、皆さんがんばって書いていただきましたが、形式を踏襲することが一つの大きな目的でもありますので、その部分が不十分だと評価に影響したと思います。・当科目での学びを活かして、引き続き学びを積み重ねていってください。
2G0018	基礎ゼミⅠ	越後敬子	この科目で「何を学ぶのか」ということについて、次第に理解を深めていってくれたように思います。最終レポートはみな揃って非常によい出来でした。
2H0010	人体の構造と機能Ⅰ	白井美穂	皆様アンケート回答頂きありがとうございました。小テストとDVDや動画教材の活用について良かったというご意見を沢山頂きましたので、引き続き行っていきたいと思えます。改善点としてパワーポイントのカーソルや板書、資料の見にくさのご意見がありましたので、改善していきたいと思えます。貴重なご意見ありがとうございました。
2H0020	人体の構造と機能Ⅱ	白井美穂	皆様アンケート回答頂きありがとうございました。実際に自分の骨や筋肉を触りながらの授業や皆さんの意見の取り入れ、副教材の配信、人体模型の活用、資料を途中から両面から片面にしたこと等が良かったというご意見を頂き、今後も引き続き行っていきたいと思えます。学習速度については早い、丁度いい両方の意見がありましたので、なるべく分かりやすくゆっくり話せるように心がけます。板書の仕方ですが、DVD投影の両側に同じものを板書してほしいというご意見があり、見にくかった部分を今後改善していきたいと思えます。テストの告知についてもできる限り早く行いたいと思えます。貴重なご意見ありがとうございました。
2H0050	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ (疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)	岡田 彩子	授業改善アンケートへのご回答、ご意見をいただき有難うございました。講義資料の配布について、学生にとってより有意義な授業になるよう、可能な範囲で配布できるように検討していきます。貴重なご意見を有難うございました。
2H0060	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	奥原秀盛	貴重なご意見、有難うございました。授業資料の配布については、できるだけ多くの先生方にご協力いただき、毎回配布できるよう努めたいと思えます。また1回の内容が多く詰め込みすぎとご指摘もありましたので、ポイントを絞って講義するように依頼いたします。オンラインの不具合については、情報システムのご協力を得て、予防に努めます。アンケートへのご協力、有難うございました。
2H0150	ラボラトリープラクティス	天野雅子	パソコントラブルから時間通りに開始できなかったことが複数回ありました。質問番号7についてはそのためだと思えます。カメラをオンにする学生がほとんどいなかったため講義中は反応がわからず、一方授業になっていたと思われます。次年度、対面授業であれば幸いです。

2I0010	看護学概論Ⅰ	岡田 彩子	授業改善アンケートへのご回答、有難うございました。様々な貴重なご意見をいただきました。その中から以下の点については、改善策を検討し今後活かしていきます。？ 少し話す速度が速い、マイクの音が聞こえづらかった等のご意見がありましたので、講義が聴講しやすいように努めます。？ 大事な部分がどこなのかよくわからなかった、最後にまとめたものが欲しいとご指摘がありましたので、明確に示していただけるように努めます。？ 難しい内容の時は1コマより長くってほしい、生徒同士の話し合う時間を取り入れてほしいというご意見がありましたので、講義の時間配分を検討致します。以上の改善策を実施し、学生にとってより有意義な授業になるよう努めたいと思います。貴重なご意見、感想を有難うございました。
2K0030	看護援助論Ⅲ（感染防御と清潔）	喜多里己	たくさんコメントをありがとうございました。イマキク、グループワーク、リアクションシートなど良い評価をいただいたことは次年度も継続していきます。マイクの不具合が多かったので、事務とも相談しながら授業に支障がないよう気をつけていきます。
2L0010	コミュニティ論Ⅰ	鷹田佳典	授業内容への興味、分かりやすさのスコアが全体平均を下回った点は大いに反省すべきと考えています。専門用語などがたくさん出てきた点も、受講者が難しいと感じた要因のひとつだったと考えています。来年度はもう少し身近な事例を増やし、より分かりやすく、また興味を持ってもらえる内容にブラッシュアップしたいと思います。出席確認の方法についてもコメントがありましたので、その点も再度検討したいと思います。
2M0010	慢性期ケア	仁昌寺貴子	授業改善アンケートに回答くださりありがとうございました。全体として高い評価をいただき嬉しく思います。みなさんからの意見に、「生徒によくふって来てとても楽しく参加できました」と記載がありました。私たちは、みなさんが能動的に学べるよう試行錯誤しているところなので、嬉しく思います。その一方で、「疾病の授業のみたいで、慢性からはずれている気がした」との記載もありました。疾患の知識を土台に、患者さんの病いの体験を伝えられるよう努力していますが、その説明の配分やポイントの絞り方などを今後も検討していきたいと思います。みなさんからの率直な声を聞かせていただき、これからの授業を作り上げていく上で大変参考になりました。感謝いたします。
2M0020	急性期ケア	仁昌寺貴子	授業改善アンケートに回答くださりありがとうございました。全体として肯定的な評価をいただき嬉しく思います。みなさんからの意見に、教員の臨床での体験談や血液にみたてた教材などによって楽しかった、わかりやすかったという記載が多数見られました。今年度は、みなさんが1年次に病棟実習ができなかったため、教員の臨床での体験談を多く話すようにし、臨床での患者の様子や看護ケアの様子がイメージできるように工夫をしました。みなさんの理解につながったようなのでとても嬉しく思います。みなさんからの率直な声を聞かせていただき、これからの授業を作り上げていく上で大変参考になりました。感謝いたします。
2N0010	発達看護学概論	喜多・吉野・太田	授業改善アンケートへの回答をありがとうございました。フィールドワーク、グループワークが好評でした。感染対策のため2室に分けてオンラインでつないだため、参加が難しかったのではないかと心配しておりましたので安堵しました。今後も工夫しながら効果的に学べるよう工夫していきます。
2P0030	災害看護論	池田稔子	仕事をしながらの講義ですので、これが精一杯でした。期待に添えなかったらすみません。特にコメントはありません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

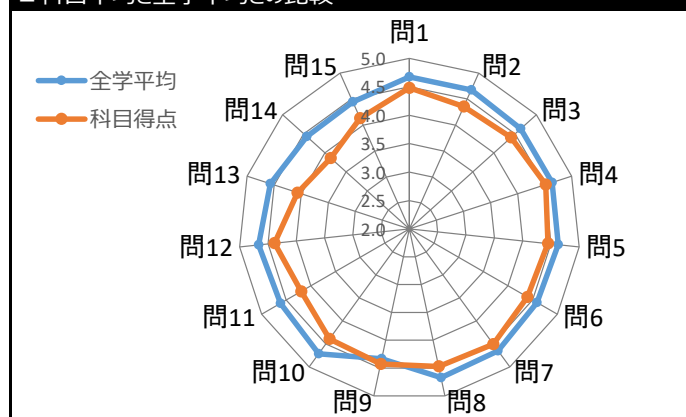
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	看護技術論Ⅰ（援助的人間関係）	[2J0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	松本佳子		授業形態	演習	回答数	87	96.7%

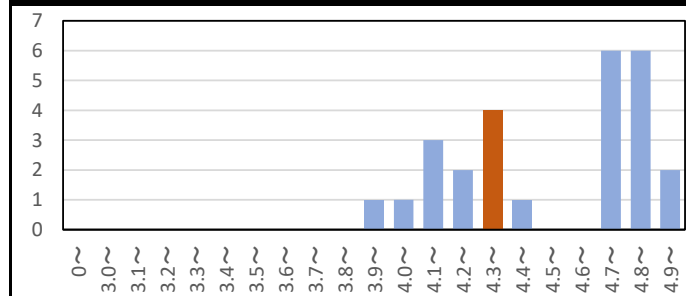
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree' and 40% 'Agree']						4.48	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 35% 'Agree', 6% 'Neither', 2% 'Disagree', 2% 'Strongly disagree']						4.35	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 6% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.40	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 3% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.52	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 6% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.45	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 25% 'Agree', 10% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.40	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 6% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.51	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 6% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.47	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 48% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 7% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.43	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 5% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.39	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 13% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.20	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 7% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.38	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 38% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 16% 'Neither', 5% 'Disagree', 5% 'Strongly disagree']						4.07	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 27% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 21% 'Neither', 6% 'Disagree', 6% 'Strongly disagree']						3.86	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 31% 'Strongly agree', 37% 'Agree', 15% 'Neither', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.13	4.45
問1～15全問平均								4.34	4.60

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

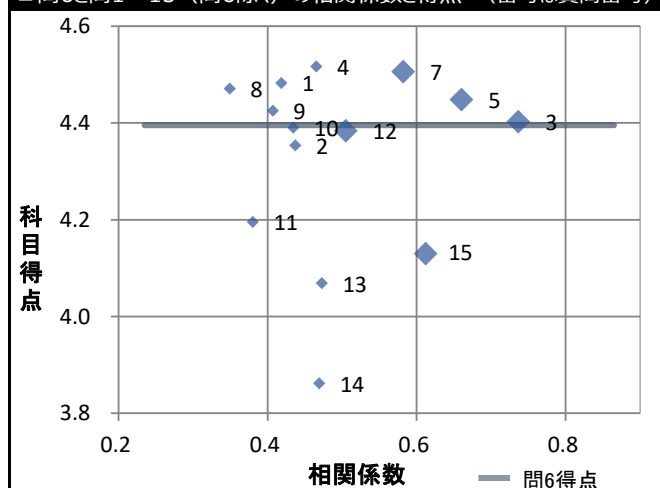


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

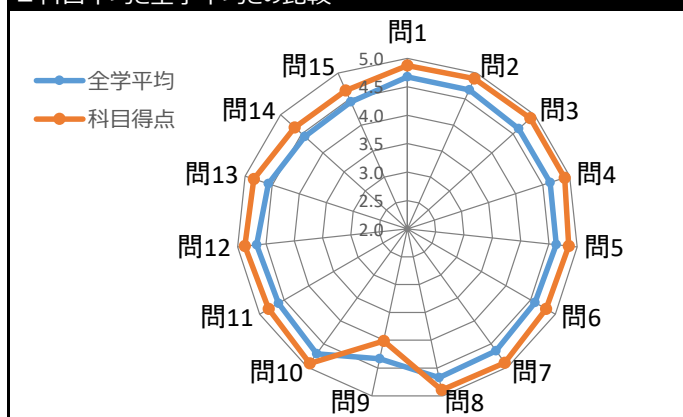
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)	[2J0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	中村滋子		授業形態	演習	回答数	87	98.9%

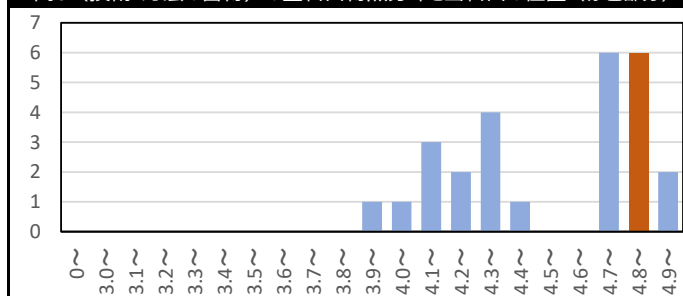
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	77						9	4.87	4.67	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	78						9	4.90	4.68	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	79						8	4.91	4.63	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	79						8	4.91	4.64	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	74						13	4.85	4.63	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	73						12	4.82	4.59	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	79						8	4.91	4.65	
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	79						5	4.90	4.67	
9	演習の時間配分は適切だった。	32	32			16	6	4.01	4.34		
10	教員の熱意が伝わってきた。	80						7	4.92	4.71	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	73						12	4.82	4.62	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	77						9	4.87	4.67	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	73						14	4.84	4.57	
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	60						26	4.67	4.43	
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	61						23	3	4.67	4.45
問1~15全問平均								4.79	4.60		

■科目平均と全学平均との比較



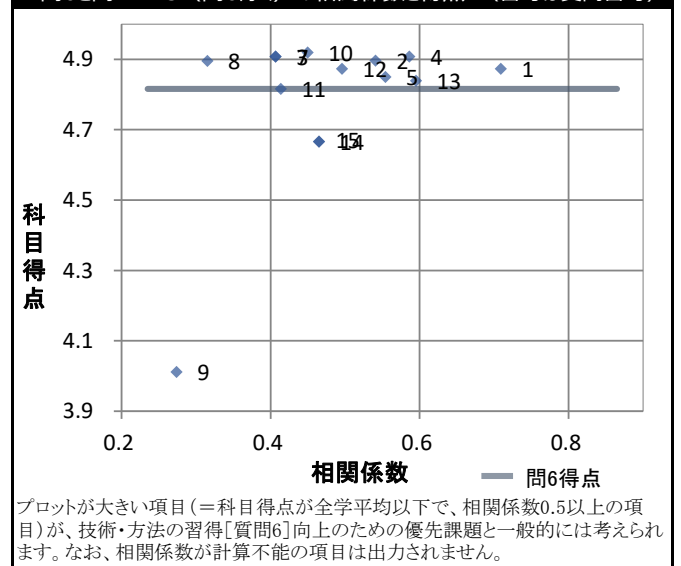
■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1~15(問6除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

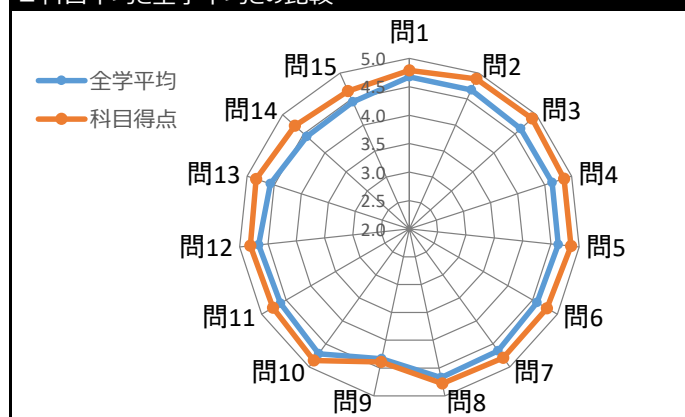
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)	[2J0040]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率	
教員名	殿城友紀		授業形態	演習	回答数	90	100.0%	

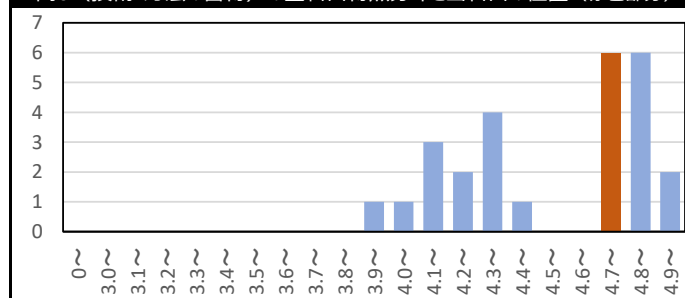
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	71						19	4.79	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	80						10	4.89	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	81						9	4.90	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	77						13	4.86	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	77						13	4.86	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	72						17	4.79	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	72						18	4.80	4.65
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	72						16	4.78	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	47		33		8		4.39	4.34	
10	教員の熱意が伝わってきた。	77						13	4.86	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	71						17	4.77	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	73						17	4.81	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	75						15	4.83	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	66						22	4.71	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	61						27	4.66	4.45
問1~15全問平均								4.78	4.60	

■科目平均と全学平均との比較



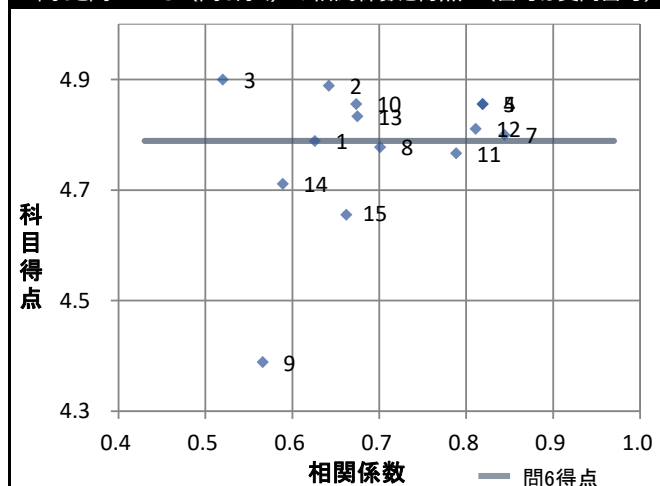
■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1~15(問6除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

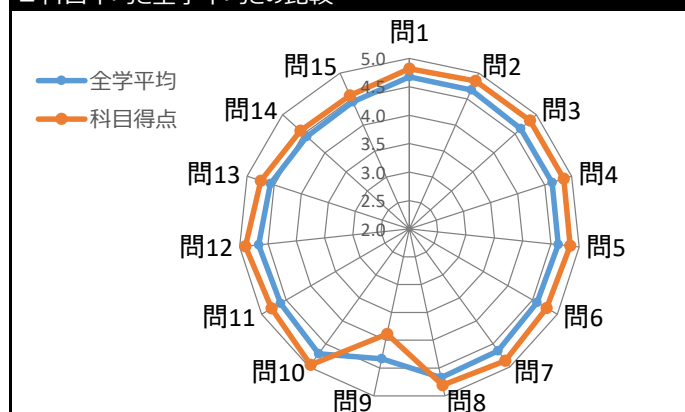
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)	[2J0060]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	殿城友紀		授業形態	演習	回答数	88	100.0%

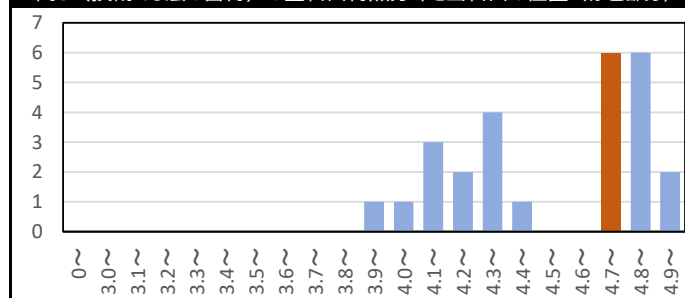
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	72						16	4.82	4.67	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	75						13	4.85	4.68	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	75						13	4.85	4.63	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	75						13	4.85	4.64	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	75						12	4.84	4.63	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	72						13	3	4.78	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	76						12	4.86	4.65	
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	73						13	4.81	4.67	
9	演習の時間配分は適切だった。	28	31			20	9	3.89	4.34		
10	教員の熱意が伝わってきた。	84						4	4.95	4.71	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	72						14	4.80	4.62	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	79						9	4.90	4.67	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	68						17	4.75	4.57	
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	56						28	3	4.58	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	54						30	4	4.57	4.45
問1~15全問平均								4.74	4.60		

■科目平均と全学平均との比較



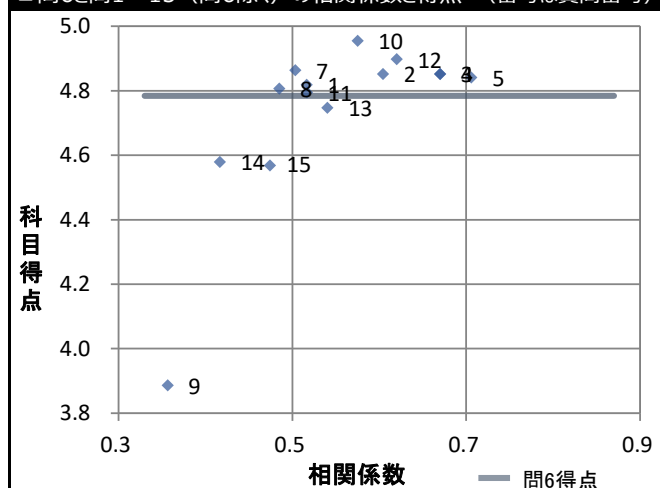
■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問6と問1~15(問6除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

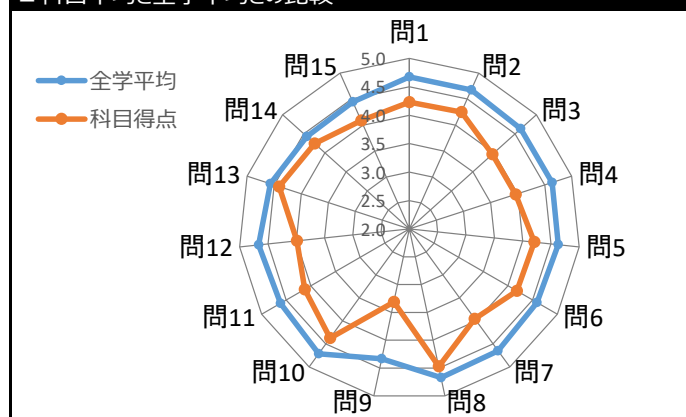
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	看護援助論 I (看護過程)	[2K0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	岡田彩子		授業形態	演習	回答数	87	98.9%

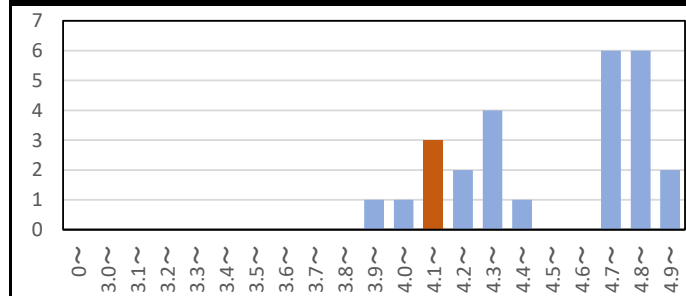
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	38	35	10	4			4.23	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	34	27	15	10			4.25	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	31	32	14	7			3.97	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	30	24	15	9	8		3.96	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	39	34	7	7			4.21	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	36	31	14				4.18	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	32	29	16	4	4		3.95	4.65
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	48	32	7				4.47	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	25	16	17	17	11		3.31	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	44	32	8				4.37	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	41	24	14	8			4.13	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	35	28	14	8			3.99	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	44	33	9				4.41	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	36	38	11				4.24	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	33	27	18	4	4		4.09	4.45
問1～15全問平均								4.12	4.60

■科目平均と全学平均との比較



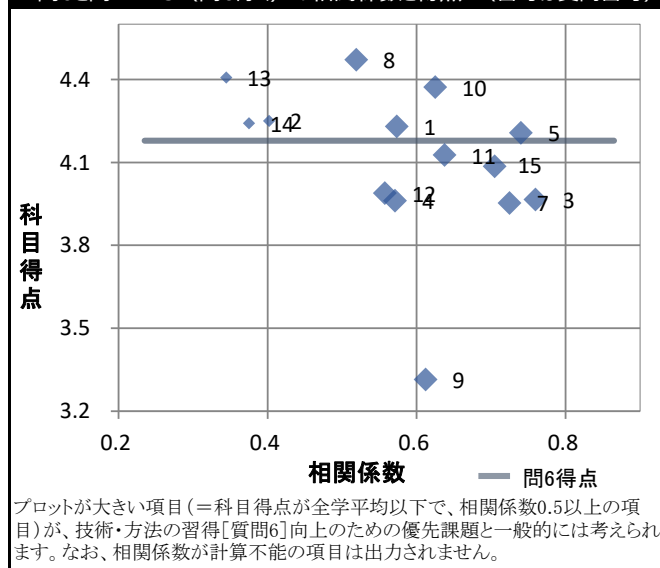
■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1～15(問6除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

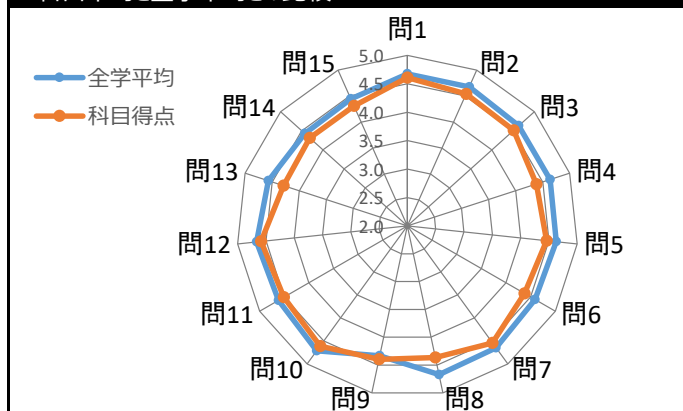
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)	[2K0040]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	仁昌寺貴子		授業形態	演習	回答数	87	98.9%

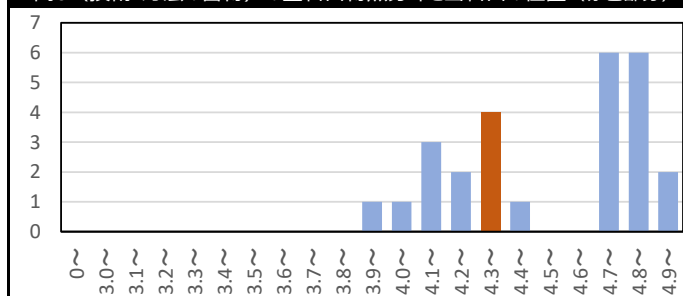
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 53% Blue, 34% Green]						4.61	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 52% Blue, 30% Green, 5% Yellow]						4.54	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Stacked Bar Chart: 47% Blue, 36% Green, 3% Yellow]						4.51	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Stacked Bar Chart: 40% Blue, 32% Green, 9% Yellow, 5% Orange]						4.38	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Stacked Bar Chart: 47% Blue, 33% Green, 7% Yellow]						4.46	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Stacked Bar Chart: 38% Blue, 39% Green, 5% Yellow, 3% Orange]						4.37	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 47% Blue, 34% Green, 4% Yellow]						4.54	4.65
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 44% Blue, 32% Green, 5% Yellow, 4% Orange]						4.36	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 43% Blue, 31% Green, 8% Yellow, 4% Orange]						4.40	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 55% Blue, 30% Green]						4.61	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Stacked Bar Chart: 48% Blue, 35% Green, 4% Yellow]						4.51	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked Bar Chart: 55% Blue, 28% Green, 4% Yellow]						4.59	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Stacked Bar Chart: 39% Blue, 36% Green, 8% Yellow, 3% Orange]						4.29	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	[Stacked Bar Chart: 39% Blue, 37% Green, 10% Yellow]						4.31	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Stacked Bar Chart: 36% Blue, 39% Green, 8% Yellow]						4.31	4.45
問1~15全問平均								4.45	4.60

■科目平均と全学平均との比較



■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

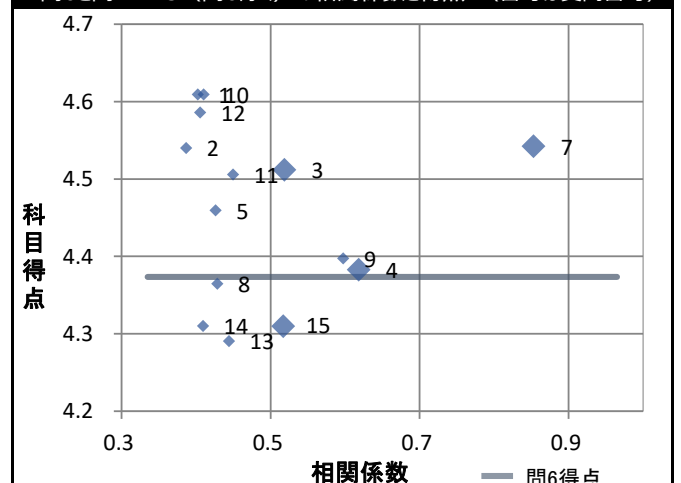


グラフ凡例	配点	問1~15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1~15(問6除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



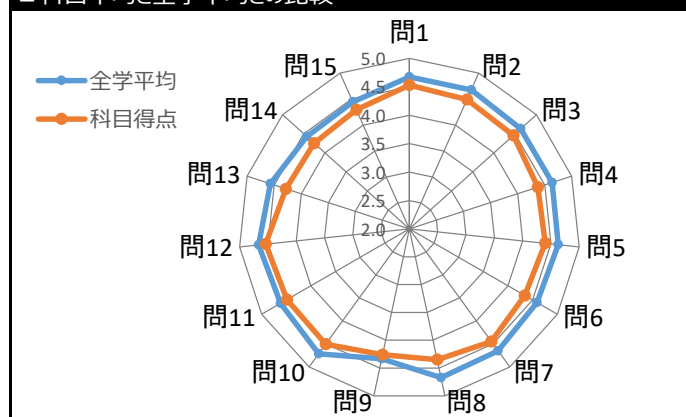
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護援助論Ⅴ(活動と休息)	[2K0050]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	仁昌寺貴子		授業形態	演習	回答数	85	96.6%

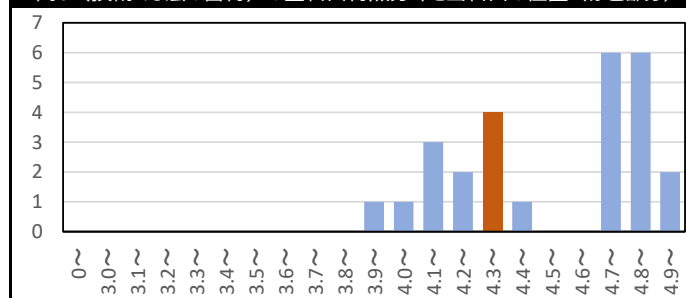
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 48% Blue, 34% Green, 3% Yellow, 15% Orange]						4.53	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 41% Blue, 33% Green, 3% Yellow, 23% Orange]						4.49	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Stacked Bar Chart: 45% Blue, 32% Green, 5% Yellow, 18% Orange]						4.46	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Stacked Bar Chart: 38% Blue, 27% Green, 10% Yellow, 25% Orange]						4.37	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Stacked Bar Chart: 40% Blue, 39% Green, 6% Yellow, 15% Orange]						4.40	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Stacked Bar Chart: 33% Blue, 40% Green, 6% Yellow, 21% Orange]						4.34	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 43% Blue, 32% Green, 5% Yellow, 20% Orange]						4.44	4.65
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 44% Blue, 29% Green, 6% Yellow, 21% Orange]						4.35	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 34% Blue, 36% Green, 9% Yellow, 21% Orange]						4.26	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 47% Blue, 35% Green, 1% Yellow, 17% Orange]						4.51	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Stacked Bar Chart: 46% Blue, 35% Green, 3% Yellow, 16% Orange]						4.48	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked Bar Chart: 48% Blue, 35% Green, 1% Yellow, 16% Orange]						4.54	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Stacked Bar Chart: 36% Blue, 38% Green, 10% Yellow, 16% Orange]						4.28	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	[Stacked Bar Chart: 33% Blue, 39% Green, 10% Yellow, 18% Orange]						4.25	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Stacked Bar Chart: 35% Blue, 31% Green, 12% Yellow, 22% Orange]						4.29	4.45
問1~15全問平均								4.40	4.60

■科目平均と全学平均との比較



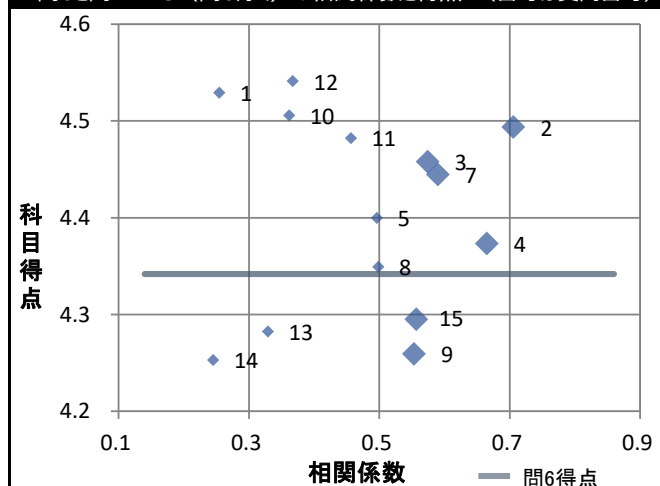
■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし

<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問6と問1~15(問6除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



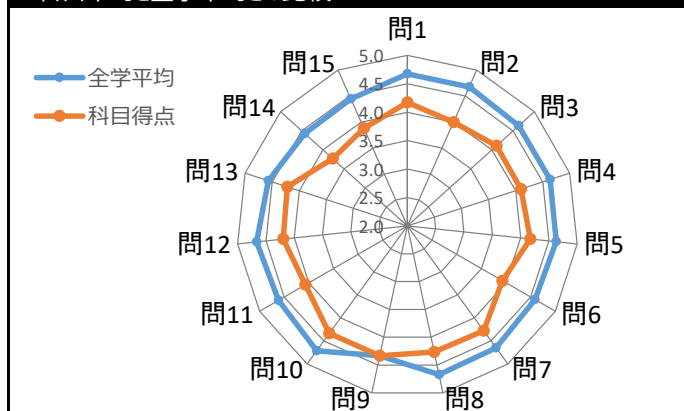
プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目名	看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)	[2K0070]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	松本佳子		授業形態	演習	回答数	87	98.9%

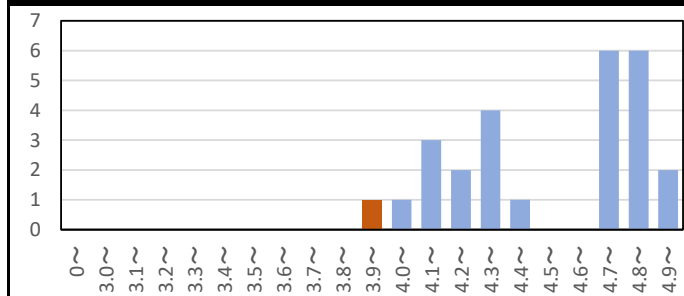
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	31	42	12				4.17	4.67
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	30	22	28	6			4.00	4.68
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	33	32	16	4			4.11	4.63
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	30	28	22	7			4.10	4.64
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	38	30	15	4			4.17	4.63
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	29	23	27	4	4		3.93	4.59
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	40	30	16				4.28	4.65
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	36	33	14	4			4.27	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	41	26	14	6			4.33	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	40	37	9				4.33	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	31	33	19	3			4.07	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	36	35	13	3			4.20	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	41	28	16				4.22	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	20	33	27	5			3.77	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	24	27	29	5			3.88	4.45
問1~15全問平均								4.12	4.60

■科目平均と全学平均との比較



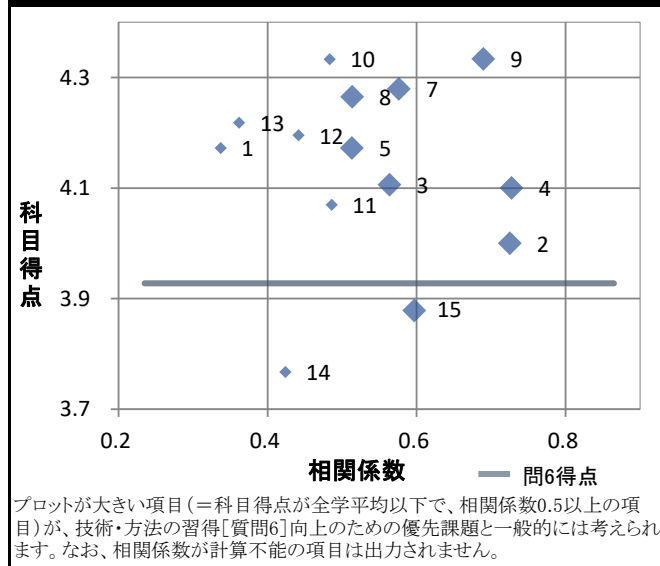
■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1~15(問6除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

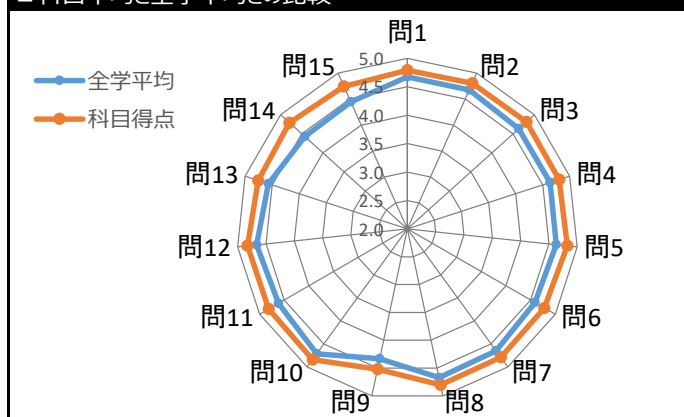
日本赤十字看護大学
2021年度前期

科目名	健康レベル別看護学演習 I (急性期・慢性期) [2M0040]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率	
教員名	仁昌寺貴子	授業形態	演習	回答数	86	97.7%	

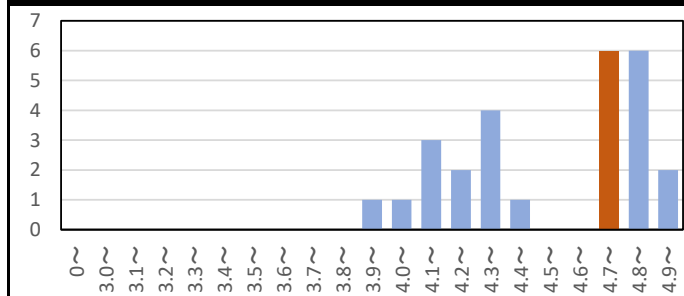
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	68						18	4.79	4.67	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	70						15	4.80	4.68	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	71						14	4.81	4.63	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	71						13	4.80	4.64	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	72						13	4.83	4.63	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	69						15	4.78	4.59	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	71						12	3	4.79	4.65
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	72						11	3	4.80	4.67
9	演習の時間配分は適切だった。	56						20	9	4.52	4.34
10	教員の熱意が伝わってきた。	73						12		4.84	4.71
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	73						10	3	4.81	4.62
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	72						13		4.83	4.67
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	68						15	3	4.76	4.57
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	68						18		4.79	4.43
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	65						20		4.74	4.45
問1~15全問平均								4.78	4.60		

■科目平均と全学平均との比較



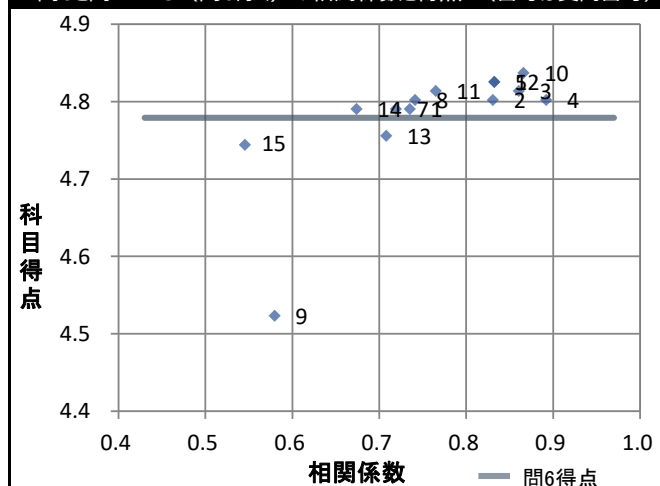
■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)



グラフ凡例	配点	問1~15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞
 ・グラフ内数字は回答数
 (3%未満は非表示)
 ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問6と問1~15(問6除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
2J0010	看護技術論Ⅰ (援助的人間関係)	松本佳子	授業に関して、多くのコメントをよせていただきまして、ありがとうございます。特にグループワークについては、「良い経験になり楽しかった。」というご意見を多数いただきました。今後も、学びやすい学習環境を作ることを念頭におきつつ、学生の皆さんの興味関心がさらに深まるような授業内容を構成していきたいと考えております。また資料に関しては、「色を使ってみやすくしてもらえると理解しやすい」というご意見をいただきました。来年度からの授業資料作成の参考にさせていただきます。このたびは、率直なご意見をありがとうございました。
2J0030	看護技術論Ⅱ フィジカルアセスメント②	中村滋子	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。楽しく学んでいただいたことが大変うれしいです。今後も、デモンストレーションを取り入れながら展開し、質問しやすい教員配置と雰囲気、意見交換の時間を大切にしていきたいと思っております。時間配分については、授業時間を延長することが多くなり申し訳ありませんでした。授業の構成の仕方などをさらに検討していき改善に努めていきます。
2J0040	看護技術論Ⅲ (基礎看護技術①)	殿城友紀他	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後も、分かりやすいデモンストレーション、質問しやすい教員配置と雰囲気、毎回の質問と感想にフィードバックすることを大切に演習を展開していきたいと思っております。時間割やマイク音声についてのご意見は、事務局教務と共有して改善してまいります。演習記録の記載内容について、分からない時はぜひご質問ください。
2J0060	看護技術論Ⅲ (基礎看護技術③)	殿城友紀他	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。演習時間についてのご意見、時間配分に留意し、慌てずに演習を行なえるよう工夫を重ねていきます。演習記録とGlexaの両方の課題があることについて、演習記録は授業資料、Glexaは事後学修課題と位置付けております。練習時間のご要望について、実習室が空いている時間は、感染予防のためのルールを守って、どうぞ練習にご使用ください。物品などが必要な時は、担当教員にお声かけください。授業は終了しておりますが、今後もお声かけください。分かりやすいデモンストレーション、質問しやすい教員配置と雰囲気、楽しく学べたなど、たくさんの温かいご意見、とても嬉しく思いました。みなさんが一生懸命授業に取り組んでくださったからこそと思っております。今後も評価して下さったことを大切に授業を展開してまいります。
2K0010	看護援助論Ⅰ (看護過程)	岡田彩子	授業改善アンケートへのご回答、有難うございました。以下の様な貴重なご意見をいただきましたので、改善策を検討し今後活かしていきます。1)グループワークの時間が少ないとの指摘がありましたので、講義スケジュールを検討しグループワークの時間を確保できるようにします。2)教員間での情報共有ができておらず指導内容が異なるとの指摘がありましたので、教員間で共通認識を図ります。3)リアクションペーパーの質問へのフィードバックが欲しいとの意見がありましたので、フィードバックできるように努めます。以上の改善策を実施し、学生の皆さんにとってより有意義な授業になるよう努めたいと思っております。貴重なご意見、有難うございました。
2K0040	看護援助論Ⅳ (栄養と代謝/排泄)	仁昌寺貴子	授業改善アンケートに回答くださりありがとうございました。全体として肯定的な評価をいただき嬉しく思います。みなさんからの率直な声を聞かせていただき、これからの授業を作り上げていく上で大変参考になりました。感謝いたします。みなさんからの意見に、教員の体験談や動画の内容で理解が深まったとありました。次年度以降も臨床のリアルな様子がわかるような工夫を取り入れていきたいと思っております。また、グループワークの人数について意見がありました。グループワークでは、新型コロナウイルス感染症対策の観点から使用できる教室との兼ね合いもあり、人数が多めのグループもありました。感染対策をしつつ可能な限り効果的なグループワークが実現できるよう人数の検討を重ねていきたいと思っております。

2K0050	看護援助論Ⅴ（活動と休息）	仁昌寺貴子	<p>授業改善アンケートに回答くださりありがとうございました。全体として肯定的な評価をいただき嬉しく思います。みなさんからの率直な声を聞かせていただき、これからの授業を作り上げていく上で大変参考になりました。感謝いたします。みなさんからの意見に、教員の体験談や実際の援助物品を見ることでおもしろいと思ったと記載がありました。次年度以降も臨床のリアルな様子がわかるような工夫を取り入れていきたいと思っています。また、グループワークにより意見交換がたくさんできた、視野が広がったとの記載がありました。グループワークが効果的に実施できたようで嬉しく思います。その一方で、グループワークの人数が多かったこと、グループ内での役割分担による負担などについて意見がありました。グループワークはメンバーの学生一人一人が自主的に進められるような能動的な態度で臨んでもらえることが理想です。今回の意見を参考に、みなさんが能動的にグループワークに参加できるような工夫を検討していきたいと思っています。</p>
2K0070	看護援助論Ⅶ（心・身体・人間関係）	松本佳子	<p>授業に関して、多くのコメントをよせていただきまして、ありがとうございます。特に、「リラクゼーション」や「当事者の体験談」についての授業がよかったというご意見を多数いただきました。引き続き、効果的な授業内容に関して、検討を重ね、継続していきたいと考えます。授業資料に関しては、「穴埋めを増やして欲しい」「スライドを映して欲しい」「重要ところが分かりにくい」等といったご指摘をいただきました。来年度からの授業資料作成に反映させていきたいと思っています。今後も、学びやすい学習環境を作ることを念頭におきつつ、学生の皆さんの興味関心がさらに深まるような授業内容を構成していきたいと考えております。このたびは、率直なご意見をありがとうございました。</p>
2M0040	健康レベル看護学演習Ⅰ（急性期・慢性期）	仁昌寺貴子	<p>授業改善アンケートに回答くださりありがとうございました。全体として肯定的な評価をいただき嬉しく思います。この演習では、応用看護技術の修得を目標にしているため、患者の様子や援助の実際の様子がイメージできるように創部モデルや点滴モデルと作成し、講義ではポイントを絞って大切な点を伝えることに注力をしました。その結果が反映できていたと思えるようなコメントをいただきとても嬉しく思います。また、丁寧に応答してもらったのがよかったというコメントもありました。今後もみなさんが実際の援助の様子がリアルにわかりやすく理解できるような工夫を検討していきたいと思っています。みなさんからの率直な声を聞かせていただき、これからの授業を作り上げていく上で大変参考になりました。感謝いたします。</p>